

# ユーザー部材

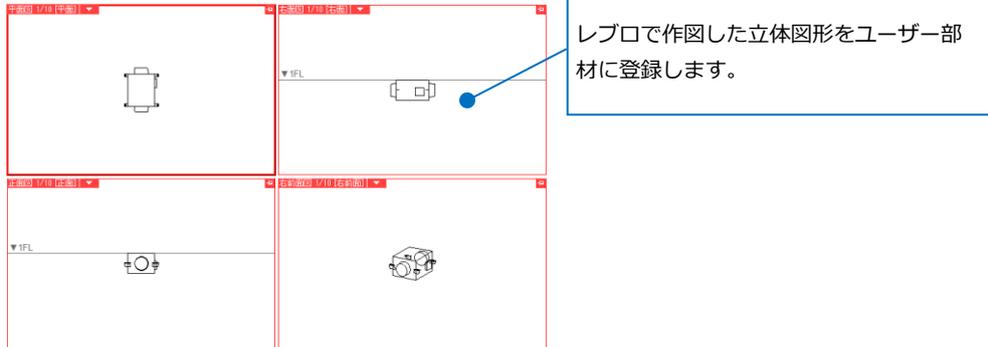
## 目次

1. ユーザー部材の登録方法 .....	2
2. ユーザー部材の登録方法 (2D) .....	4
3. ユーザー部材の登録 (3D) .....	10
4. ユーザー部材の登録 (2D+3D) .....	14
5. ユーザー接続口 .....	18
6. ユーザー有意味点 .....	24
7. 単線の登録 .....	27
8. Stemの利用 .....	29
9. システム部材の編集 .....	33
10. 登録内容の編集 .....	37
11. カスタマイズ .....	40
12. ユーザー部材の保存 .....	47
13. ユーザー部材の読み込み .....	48
14. 読み取り専用のユーザー部材 .....	50
15. メーカー提供部材の読み込み .....	52

更新日： 更新日：2020/02/19 Rebro2020 対応

# 1.ユーザー部材の登録方法

[図形]タブで作図した図形や他形式ファイルから読み込んだ汎用図形を、レプロの部材として使用できます。作図済みの図形をユーザー部材として登録します。



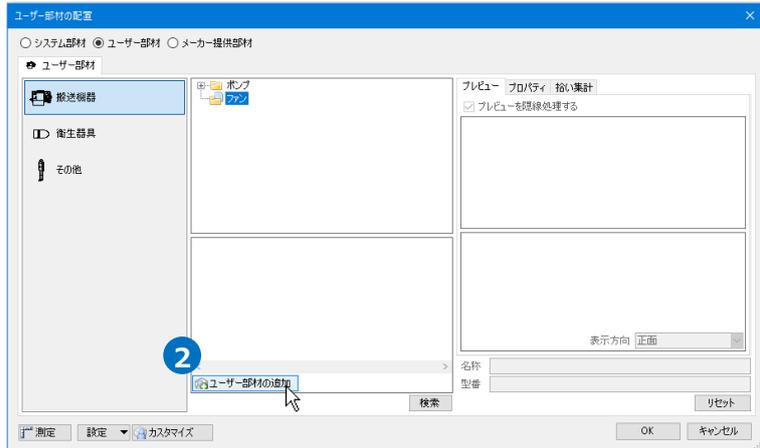
レプロで作図した立体図形をユーザー部材に登録します。

1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。



2 [ユーザー部材の追加]ダイアログを表示します。

部材を登録するタブ、リスト、フォルダを指定し、[ユーザー部材の追加]をクリックします。



Memo  
タブ、リスト、フォルダを新規に追加する場合、p.40「11.カスタマイズ」を参照してください。

3 名称と型番を入力します。

4 部材形状を登録します。

登録する視点の[登録]ボタンをクリックします。  
ここでは[3D+CG]の[登録]をクリックします。

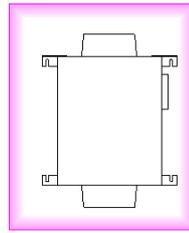
それぞれの視点方向の2Dデータを登録します(p.4 参照)。



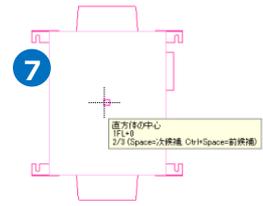
3Dデータ(p.10 参照)やユーザー接続口(p.18 参照)、ユーザー有意味点(p.24 参照)を登録します。

単線記号を登録します(p.27 参照)。

5 登録する図形データを選択します。



6 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



7 基準位置を指定します。

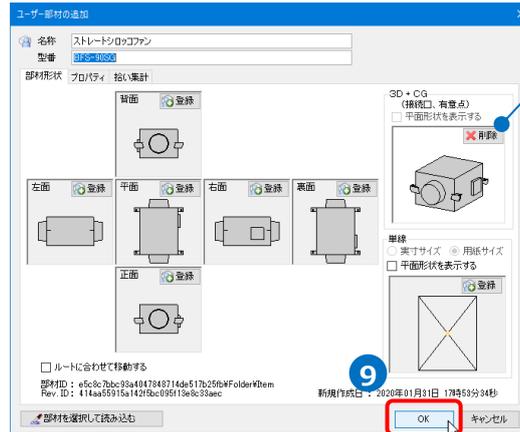
→[3D+CG]に登録されます。

[3D+CG]に登録すると、各視点方向にも形状が表示されます。

範囲内/境界線 上を含まない  
(ドラッグ中のSpaceキー、または右クリックで切り替え)

8 各視点方向に形状を登録する場合も同様に行います。

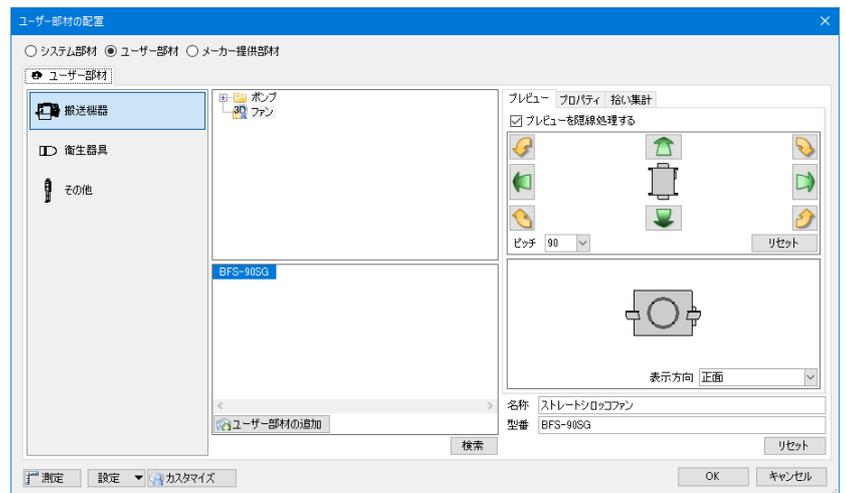
[3D+CG]、平面や側面はそれぞれ登録できます。



形状を登録すると、  
[削除]ボタンに変わります。

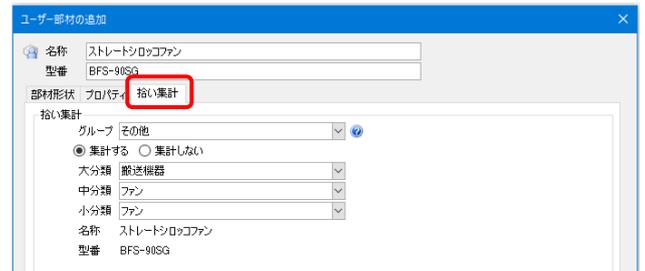
9 [OK]をクリックします。

→ユーザー部材に登録されます。



● 補足説明

[プロパティ]タブや[拾い集計]タブで、プロパティに表示する部材の情報の設定や、拾い集計の集計分類の設定が行えます。

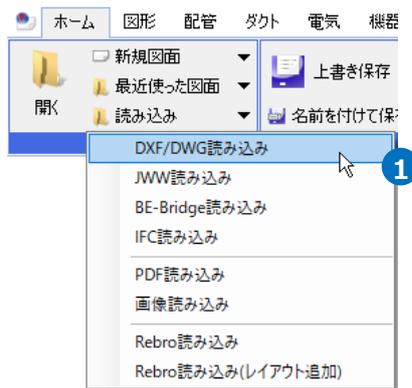


## 2. ユーザー部材の登録(2D)

2Dデータ (DXF/DWG/JWW) の汎用図形を読み込み、ユーザー部材として登録します。

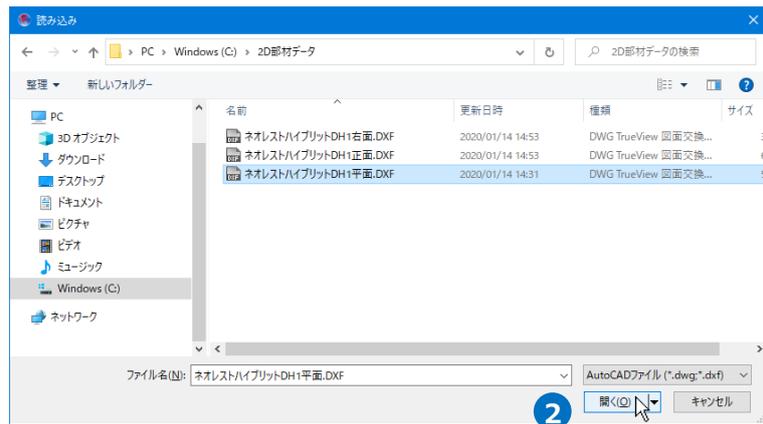
### DXF ファイルの読み込み

- 1 [ホーム]タブ-[読み込み]をクリックし、[DXF/DWG読み込み]を選択します。

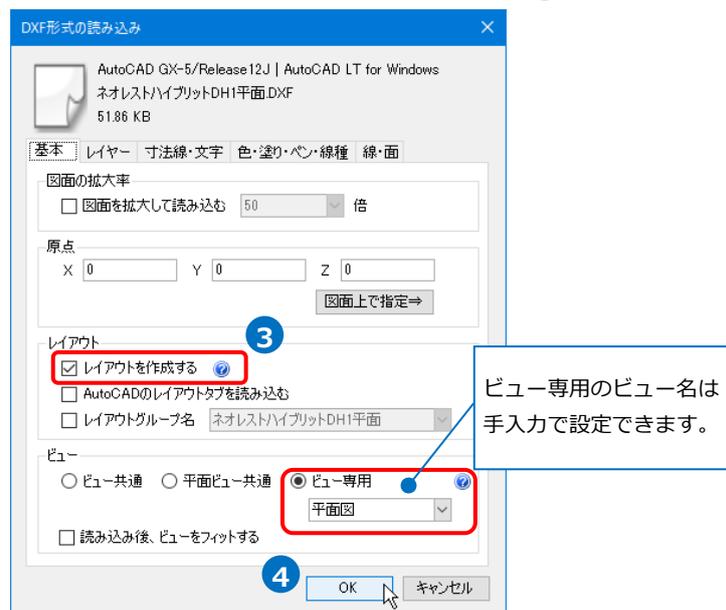


- 2 読み込むファイルを選択し、[開く]をクリックします。

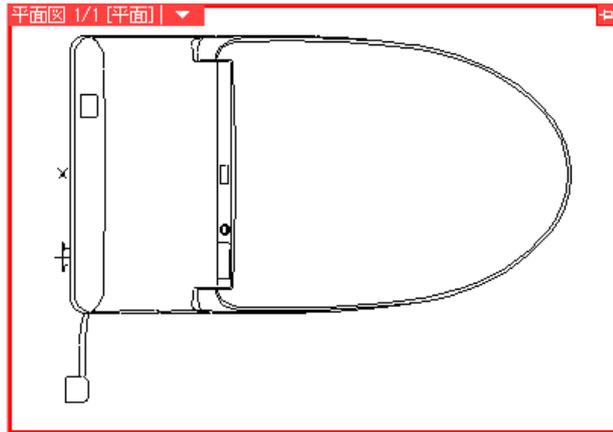
- 3 [DXF形式の読み込み]ダイアログで読み込みの設定をします。  
[レイアウトを作成する]にチェックを入れ、[ビュー専用]を選択します。



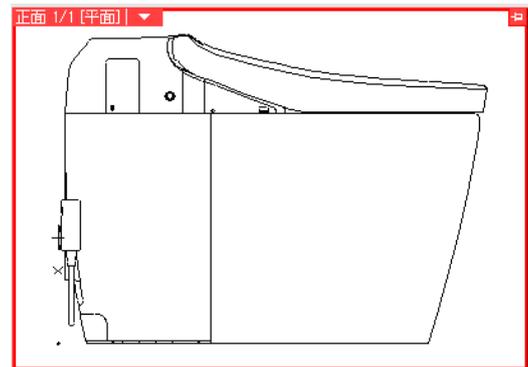
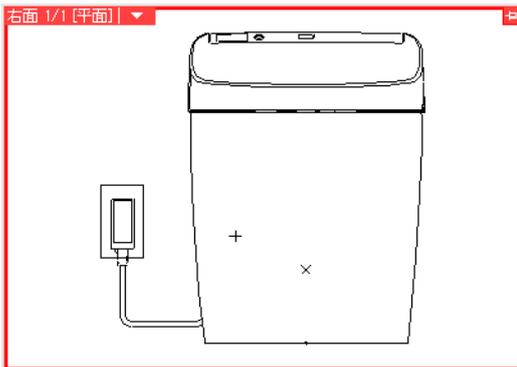
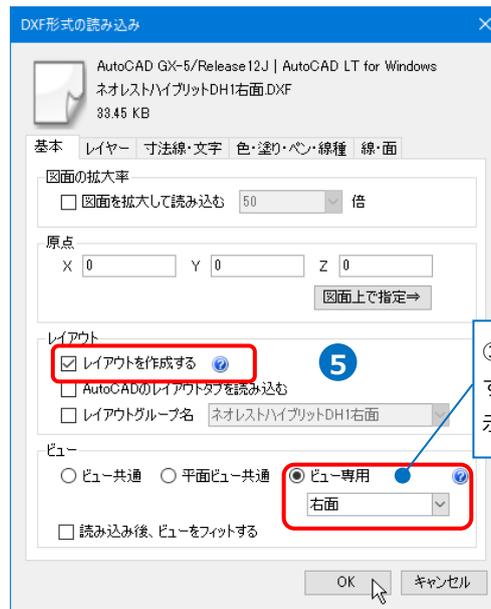
- 4 [OK]をクリックします。



→DXF データが表示されます。



- 5 同様に各方向の DXF ファイルを、読み込みの設定をして読み込みます。



● 補足説明

レイアウトを作成せずに読み込んだデータ同士が重なった場合、移動して位置を調整します。

- 1 [表示]タブ-[レイヤー一覧]をクリックします。

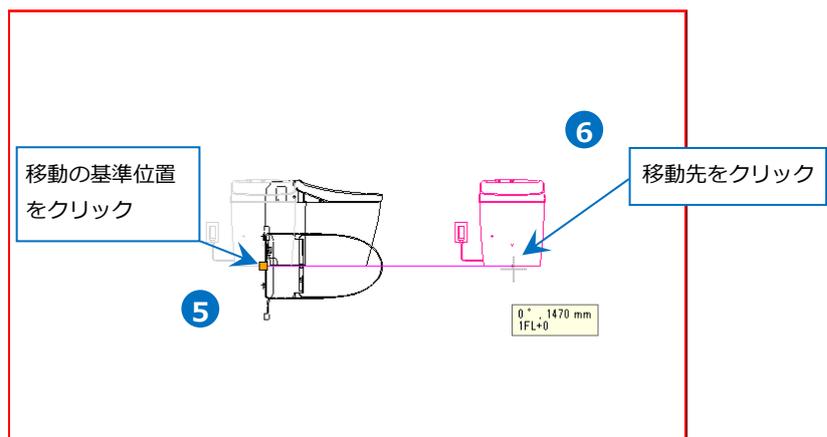
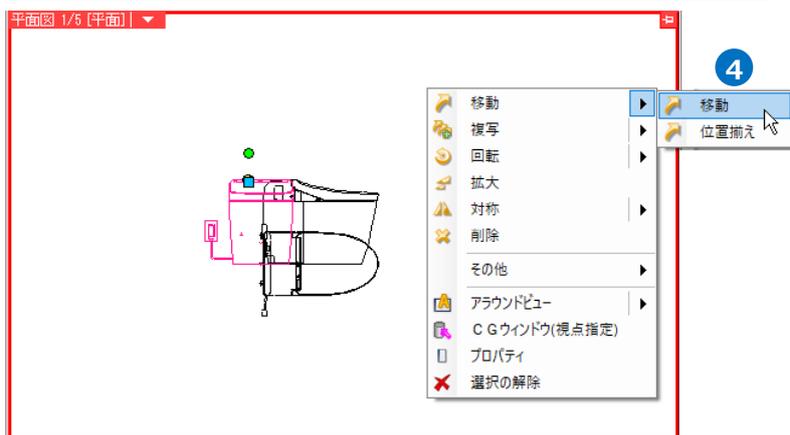
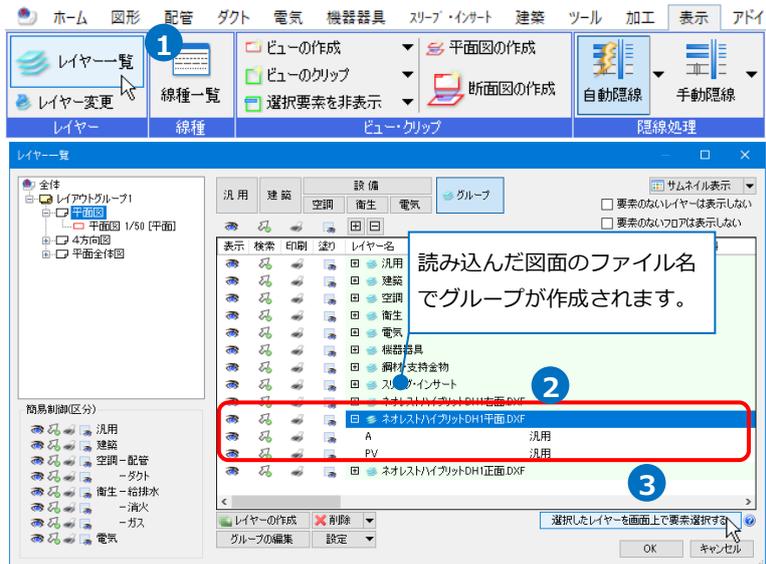
- 2 読み込んだ DXF ファイルごとにグループが作成されます。  
移動する DXF ファイルのグループを選択します。

- 3 [選択したレイヤーを画面上で要素選択する]をクリックします。  
→選択したグループの要素を一括で選択できます。

- 4 コンテキストメニューより[移動]コマンドをクリックします。

- 5 移動の基準位置を指定します。

- 6 重ならない位置まで移動し、クリックします。  
→DXF データの移動ができます。

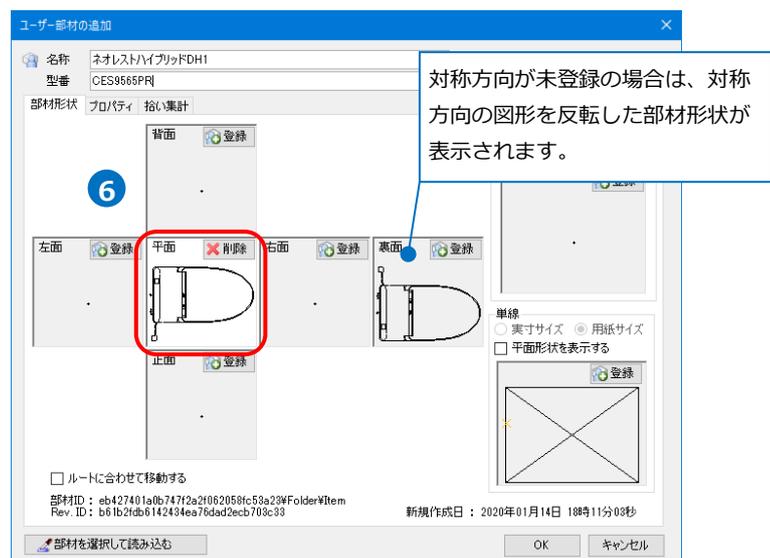
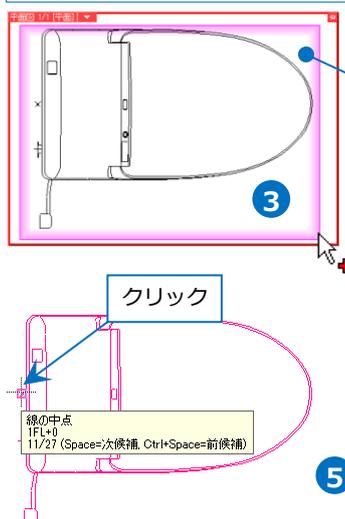


## 2D データを登録する

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。
- 2 部材データを登録します。平面方向の[登録]をクリックします。
- 3 平面方向に登録する部材データを選択します。
- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
- 5 部材の基準位置を指定します。



- 6 [平面]に登録されます。

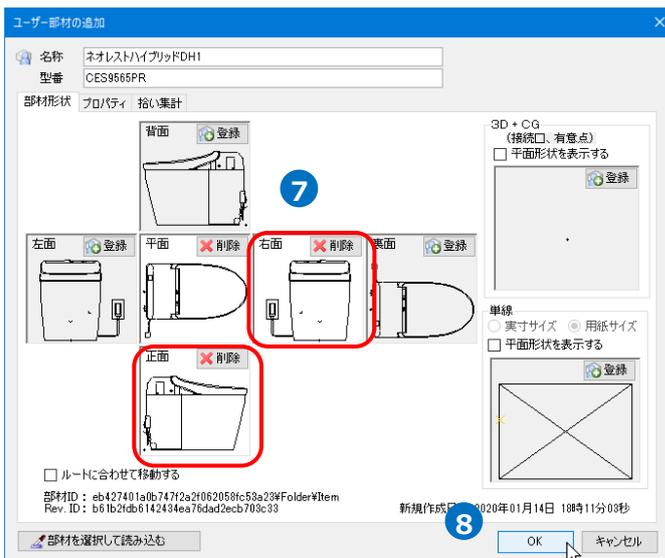


7 同様に正面方向と右面方向も登録します。

Memo

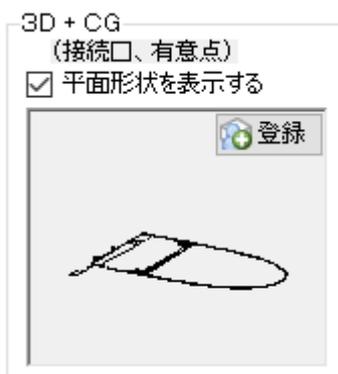
ユーザー部材に配管やダクトの接続口や有意点を追加することができます。追加方法はp.18「5.ユーザー接続口」、p.24「6.ユーザー有意点」を参照してください。

8 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。



● 補足説明

[3D+CG]の[平面形状を表示する]にチェックを入れると、アイソメ図やCGに[平面]に登録した形状を表示できます。



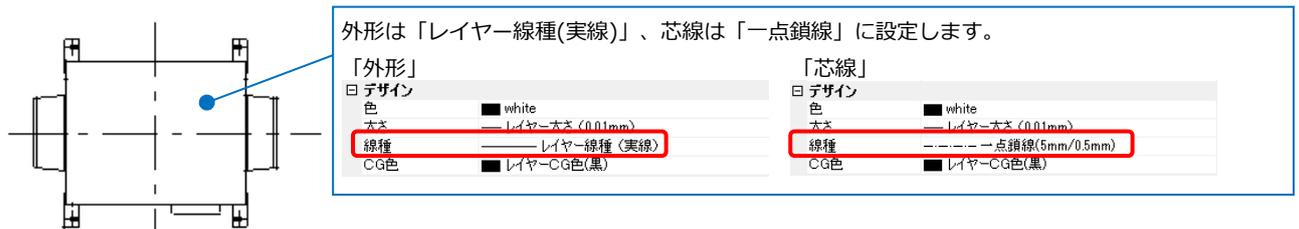
● 補足説明

ユーザー部材を登録する時に[部材の登録]のチェックを入れると部材に設定されていた線種や太さの情報がなくなり、レイヤー線種・レイヤー太さ(バイレイヤー)で登録されます。登録後にレイヤー一覧やプロパティから線種や太さを変更できます。チェックを外すと、登録時の線種や太さのまま登録することができます。情報を固定する場合は、バイレイヤー以外にして登録します。

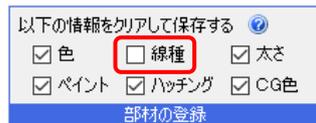
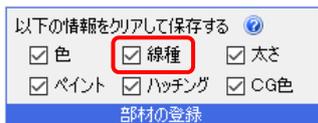
※線種は出荷値に登録されている線種のみ固定して登録できます。



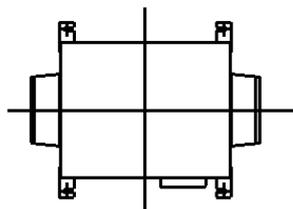
図形を配置し、プロパティで線種を設定します。



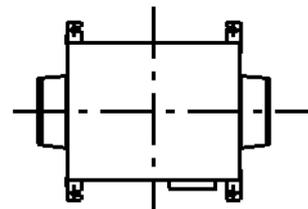
[線種]にチェックを入れた状態と外した状態でそれぞれ登録します。



チェックを外した情報が固定され、登録時の状態で配置できます。

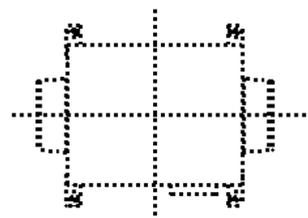
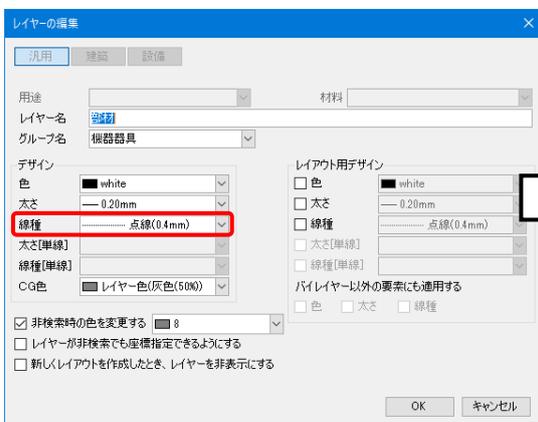


チェックあり  
外形：レイヤー線種  
芯線：レイヤー線種

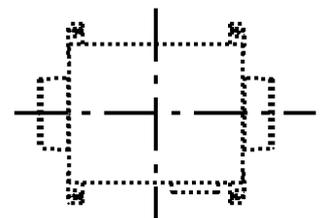


チェックなし  
外形：レイヤー線種  
芯線：一点鎖線

レイヤー一覧やプロパティから変更した場合も、チェックを外して登録した情報は影響を受けません。



チェックあり  
外形：レイヤー線種  
芯線：レイヤー線種



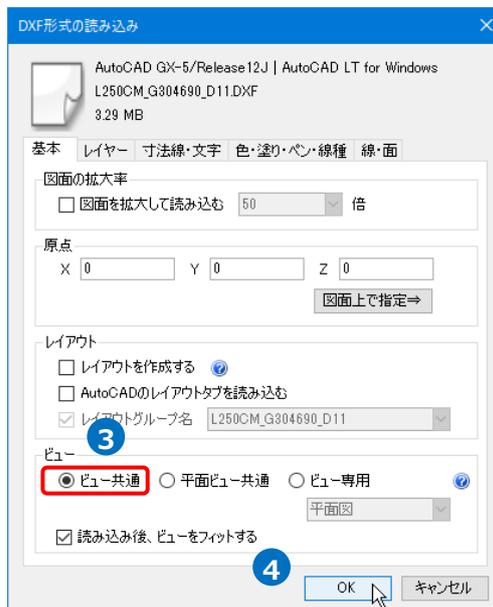
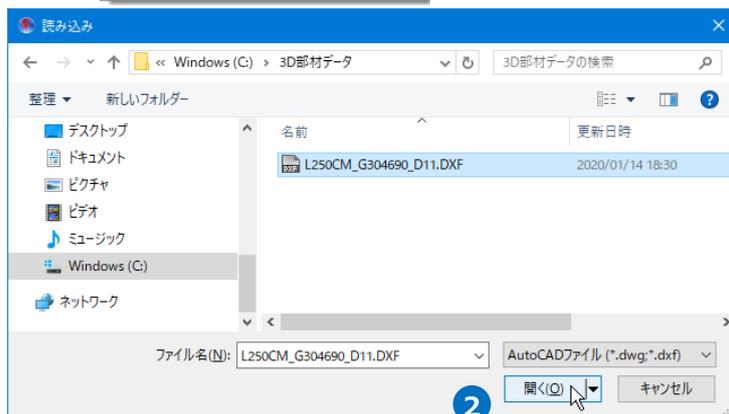
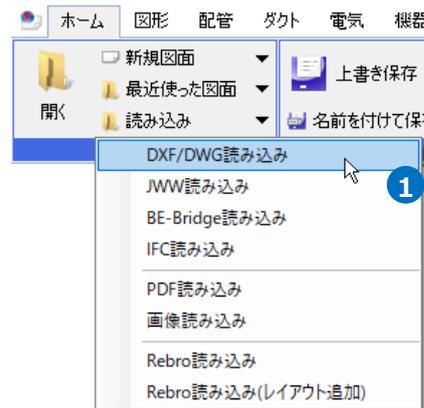
チェックなし  
外形：レイヤー線種  
芯線：一点鎖線

## 3. ユーザー部材の登録(3D)

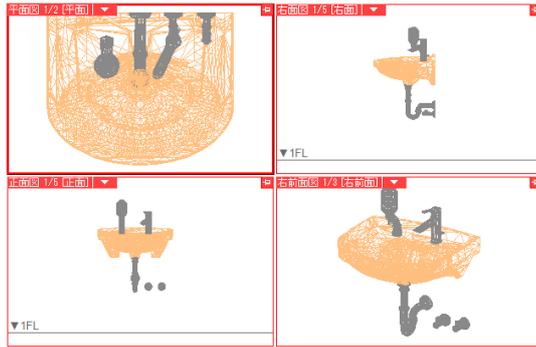
3D データ(3DDXF や 3DDWG など)や作成した 3D 図形をユーザー部材として登録します。

### 3DDXF の読み込み

- 1 [ホーム]タブ-[読み込み]をクリックし、[DXF/DWG 読み込み]を選択します。
- 2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックします。
- 3 [DXF 形式の読み込み]ダイアログから読み込みビュー-[ビュー共通]を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。



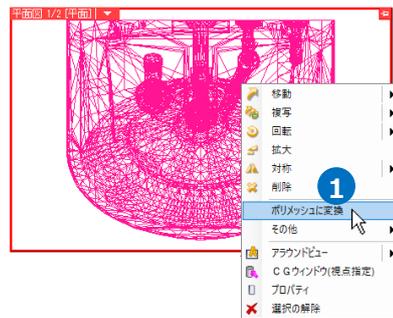
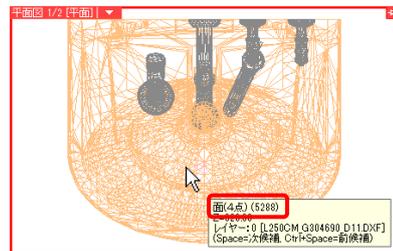
→3DDXF データが各方向のビューに表示されます。



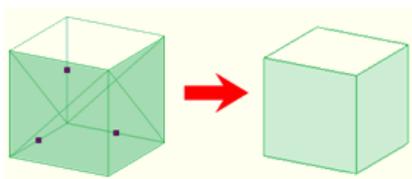
● 補足説明

読み込んだ 3D データが[複合面]または[面]で構成されていると稜線が多く見づらい場合があります。ポリメッシュに変換すると稜線を調整できます。

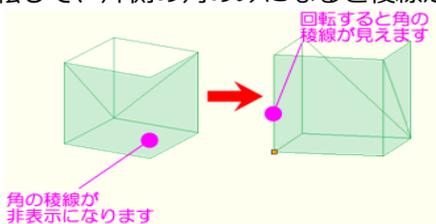
- 1 読み込んだ 3D データを選択し、コンテキストメニューより[ポリメッシュに変換]をクリックします。
- 2 変換したポリメッシュを選択し、コンテキストメニューより[ポリメッシュの編集]をクリックします。
- 3 リボンの[角度]に指定角度を入力し、[稜線の表示形式の自動設定]をクリックします。



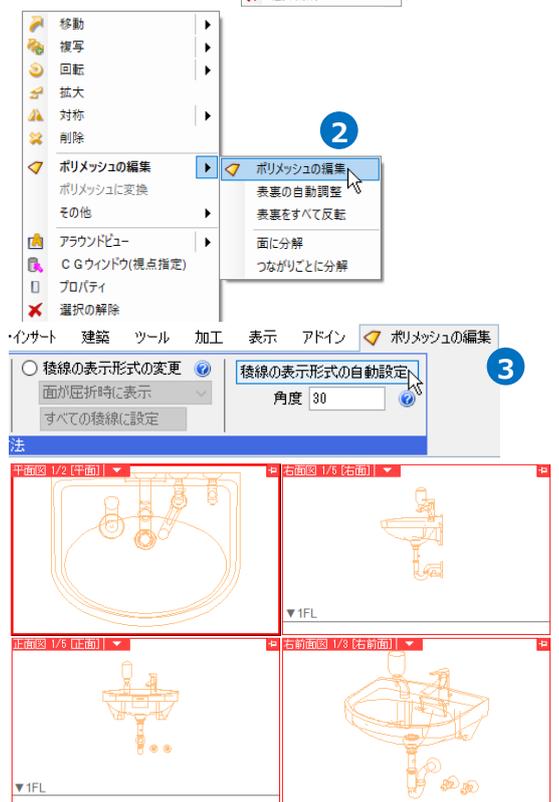
[稜線の表示形式の自動設定]を行うと、指定した角度以上の稜線は裏側で非表示になります。



指定した角度以下の場合、角の稜線を非表示にし、回転して、片側の角のみになると稜線が表示されます。



- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

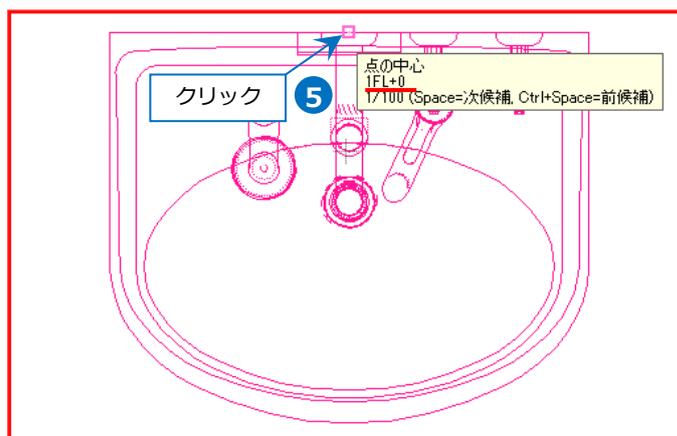
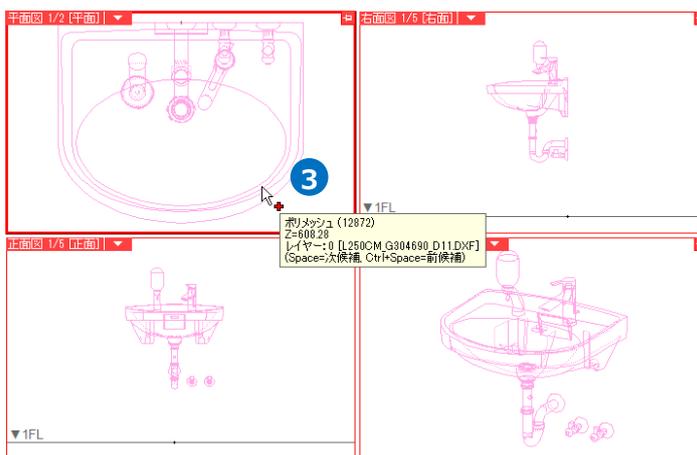


## 3D データを登録する

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。
- 2 [3D+CG]の[登録]をクリックします。
- 3 登録する3Dデータを選択します。
- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



- 5 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さに切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。



6 [3D+CG]に登録されます。

7 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。

平面や断面方向が未登録の場合、  
3D 部材の平面、断面の部材形状が表示されます。



## 4.ユーザー部材の登録(2D+3D)

2Dデータと3Dデータを組み合わせたユーザー部材を作成します。

2Dデータと3Dデータを組み合わせると平面、正面、側面方向のビューでは2Dデータを表示し、右前面ビューなどの3Dビュー、CGでは3Dデータを表示できます。

### 2Dデータと3Dデータを登録する

- 1 2Dデータと3Dデータを配置します。

#### Memo

2Dデータの読み込みはp.4「2.ユーザー部材の登録(2D)」、3Dデータの読み込みはp.10「3.ユーザー部材の登録(3D)」を参照してください。



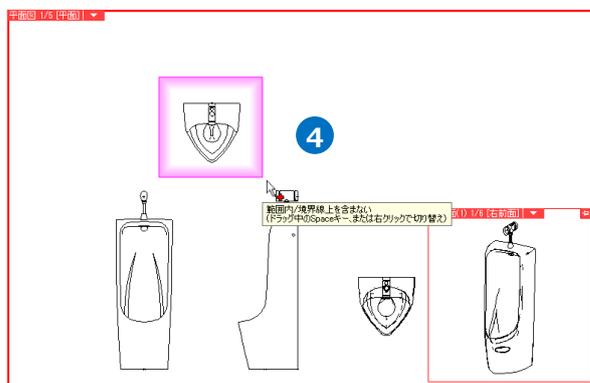
- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。



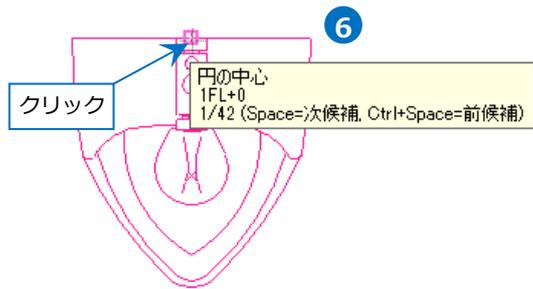
- 3 2Dデータを登録します。[平面]の[登録]をクリックします。

- 4 登録する部材データを選択します。

- 5 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



6 部材の基準位置を指定します。



7 [平面]に登録されます。

8 同様に正面方向と右面方向も登録します。



9 3Dデータを登録します。[3D+CG]の[登録]をクリックします。

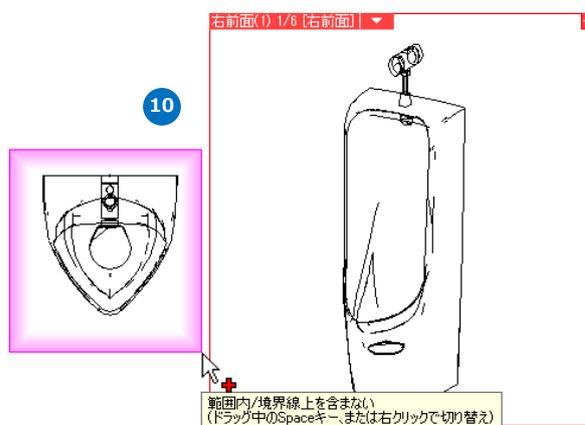
10 登録する3Dデータを選択します。

11 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

12 基準位置にカーソルを合わせ、Spaceキーで指定する高さに切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。

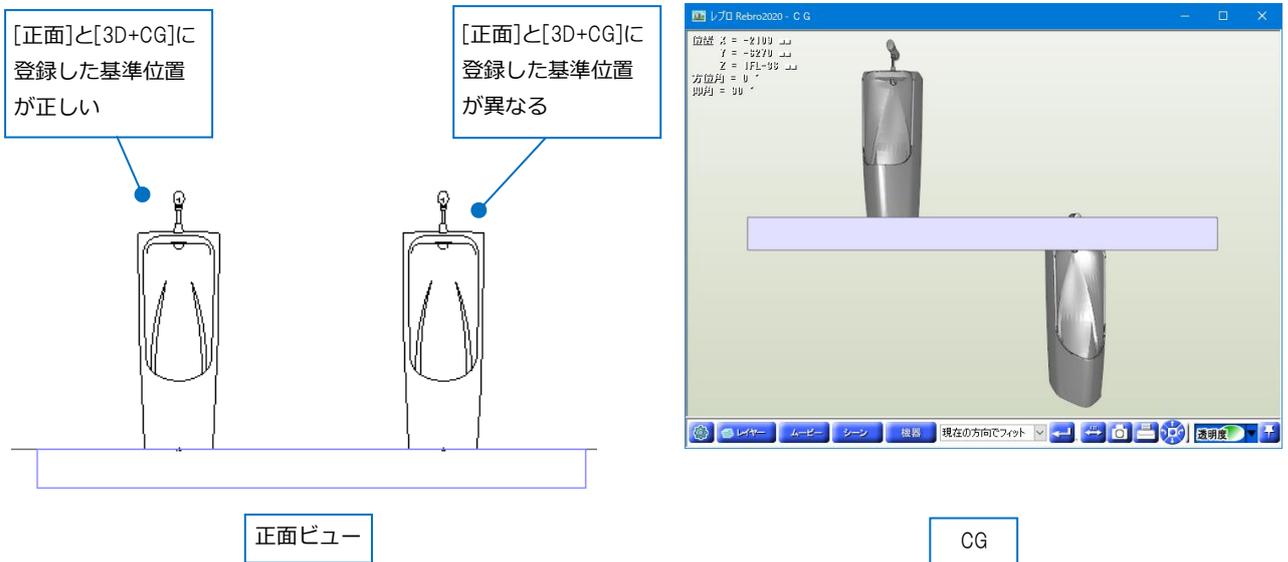
13 [3D+CG]に登録されます。

14 [OK]をクリックします。→部材が登録されます。

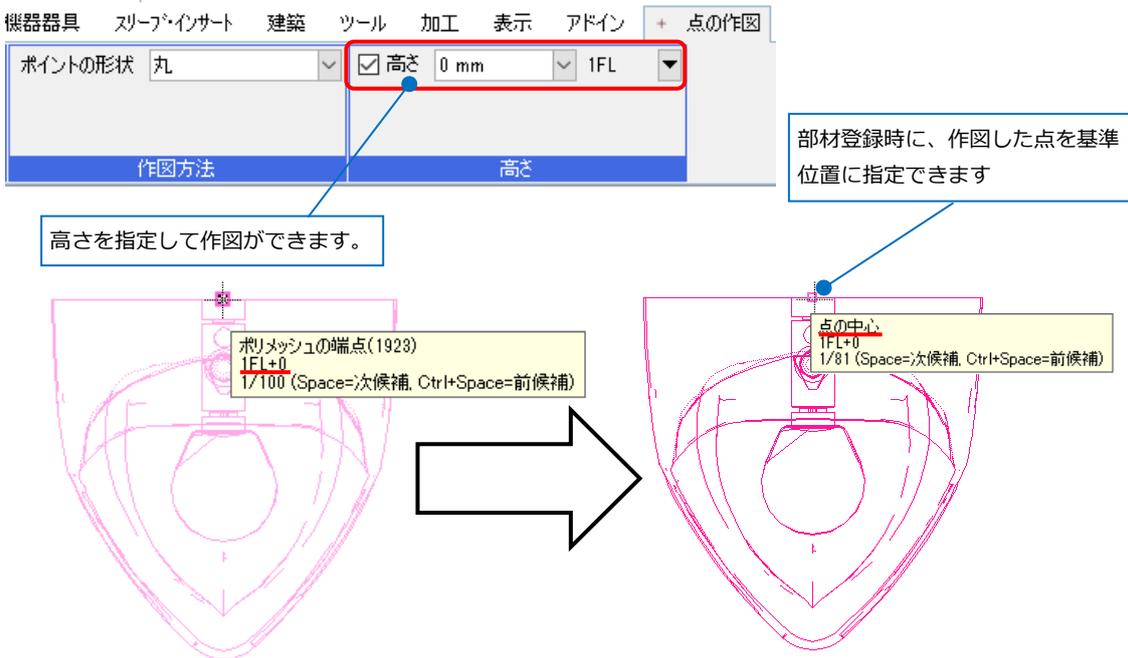


● 補足説明

各視点方向や[3D+CG]に登録した基準位置が異なっていると、部材を配置した時にCG画面や表示するビューの視点方向によって配置位置がずれて表示されます。



[図形]タブ-[線]-[点]などを基準位置にしたい箇所に高さを指定して作図しておく、3Dデータを登録する際の基準位置が指定しやすくなります。



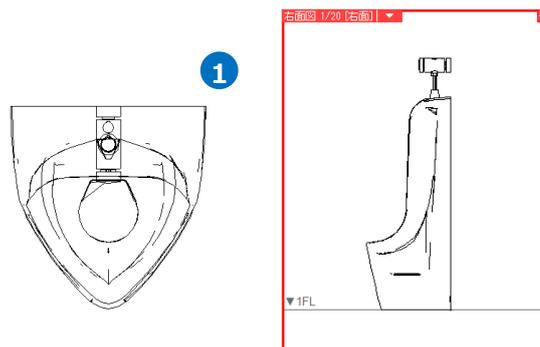
## 5.ユーザー接続口

### ユーザー接続口の作成

ユーザー接続口を設定すると、システム部材(レブロに標準登録されている部材)と同様にユーザー部材から配管やダクトを引き出すことができます。

例) 小便器に給水と汚水の接続口を設定します。

- 1 接続口を設定する部材データを配置します。

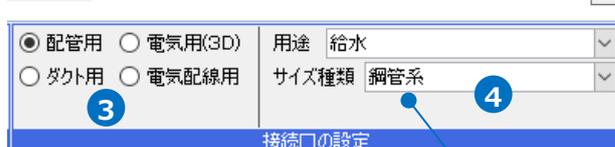


- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材] 横の[▼]から[ユーザー接続口]をクリックします。



- 3 「配管用」を選択します。

- 4 用途「給水」、サイズ種類「鋼管系」を指定します。



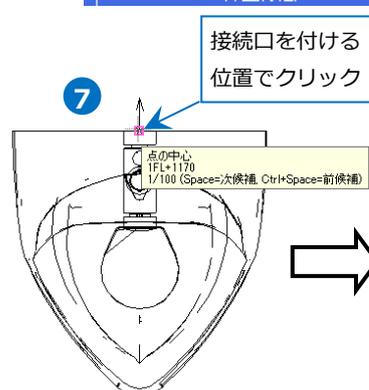
サイズ種類によって設定できるサイズが変わります。

- 5 サイズ「15」を指定します。

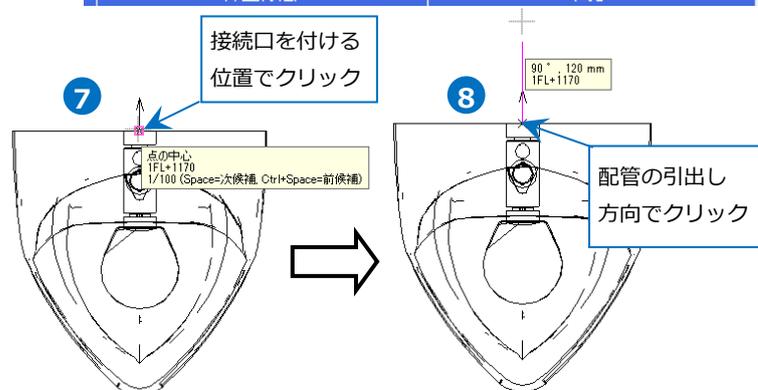
- 6 高さにチェックを入れ、「1170」を入力します。



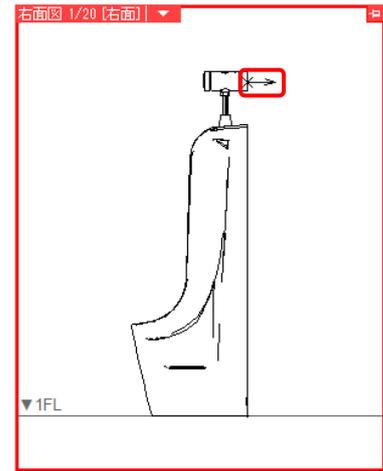
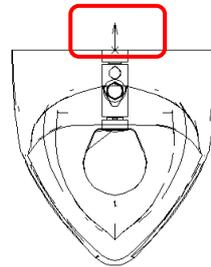
- 7 接続口を付ける位置でクリックします。



- 8 配管の引出し方向にカーソルを移動し、クリックします。



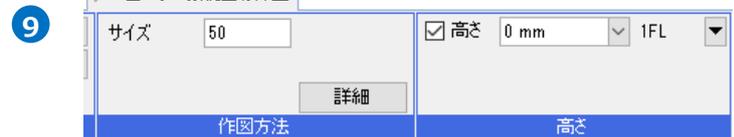
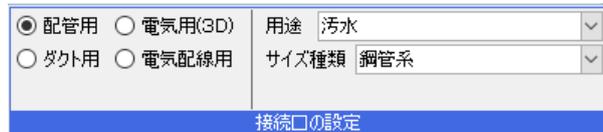
→給水の接続口が作図されます。



- 9 複数の接続口を付ける場合は続けて他の箇所にも接続口を設定します。

ここでは以下の設定を行います。

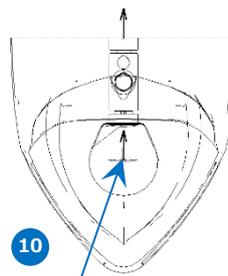
「配管用」、用途「汚水」、サイズ種類「鋼管系」、サイズ「50」、高さにチェックを入れ、「0」を入力します。



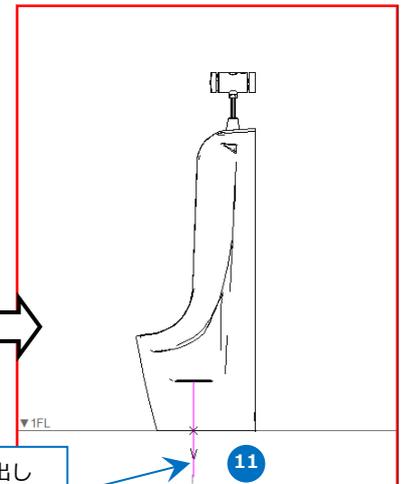
- 10 接続口を付ける位置でクリックします。

- 11 配管の引出し方向が Z 軸方向の場合は断面から引出し方向にカーソルを移動し、クリックします。

→汚水の接続口が設定されます。

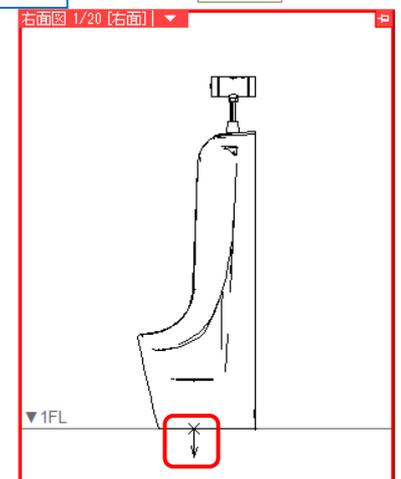
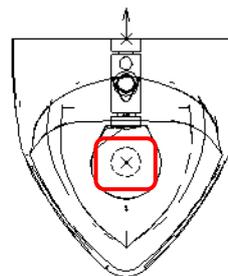


10 接続口を付ける位置でクリック



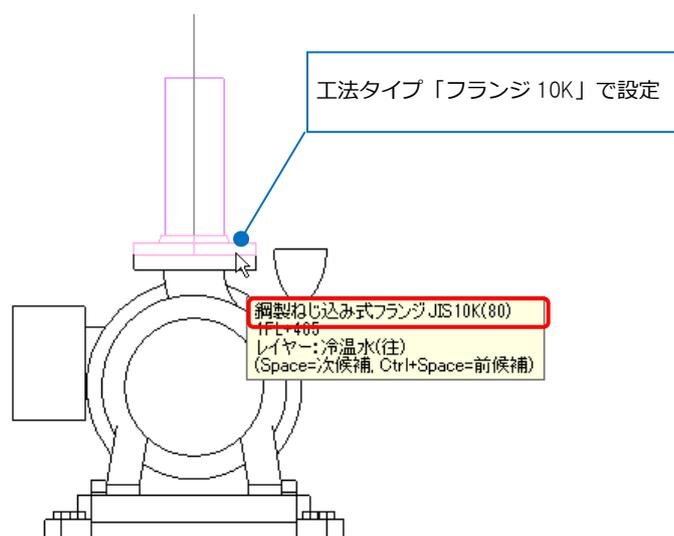
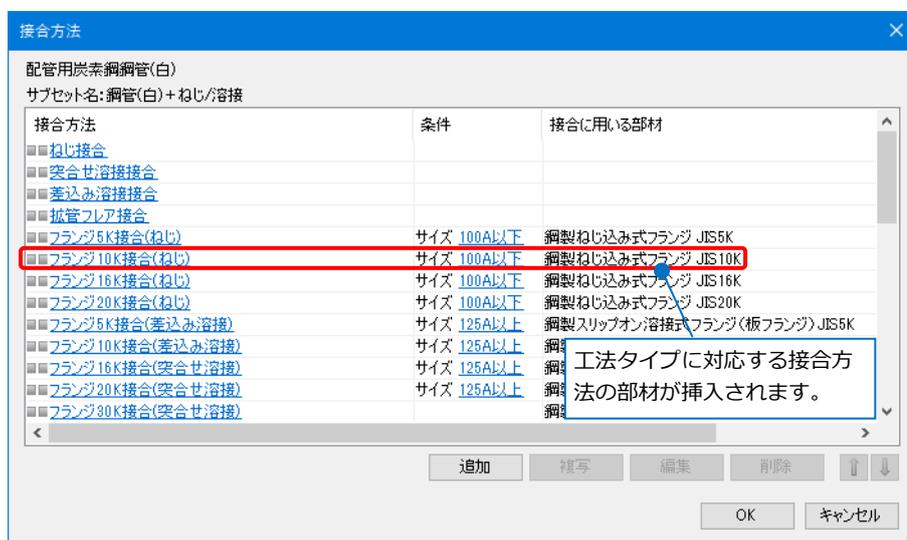
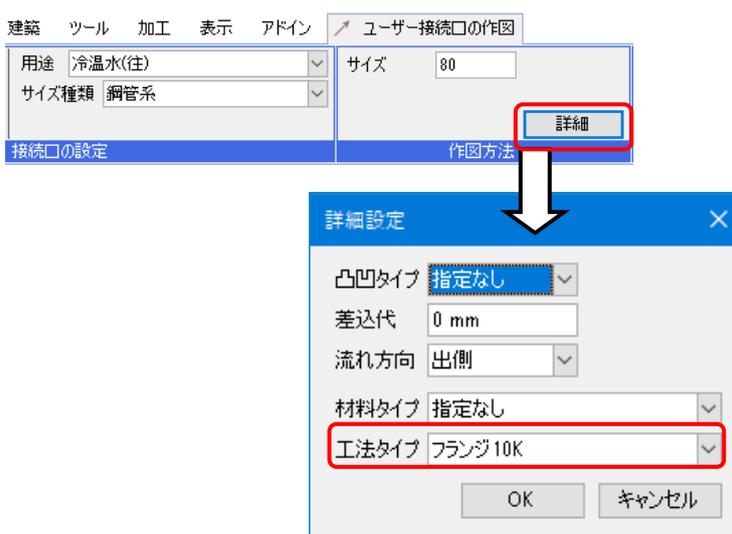
11 配管の引出し方向でクリック

- 12 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



● 補足説明

ユーザー接続口の[詳細]で工法タイプをフランジやねじ込みに設定すると、配管を接続した時に[材料の設定]-[接合方法]で設定した部材を自動で挿入できます。

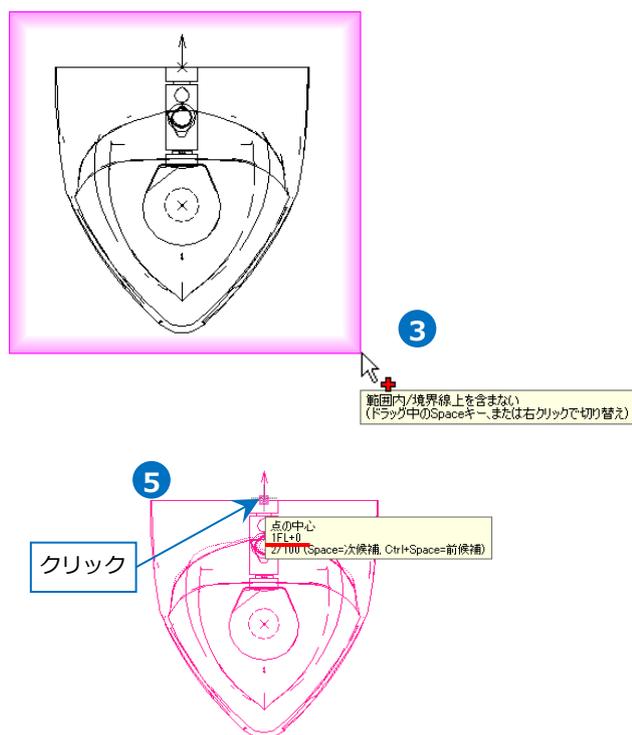


## ユーザー接続口の登録

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。
- 2 ユーザー接続口は[3D+CG]から登録します。[3D+CG]の[登録]をクリックします。
- 3 ユーザー接続口と部材データを選択します。
- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



- 5 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さに切り替えます。クリックをして基準位置を指定します。



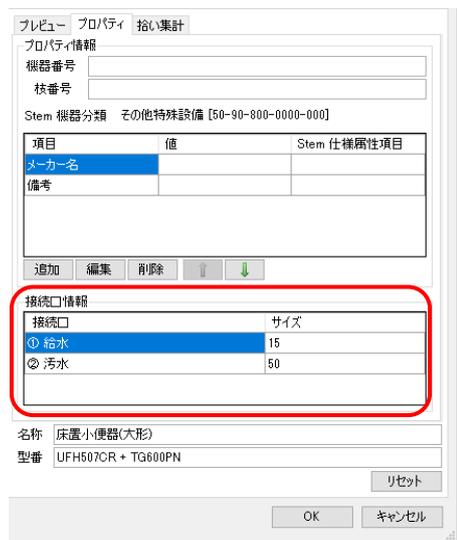
6 [3D+CG]に登録されます。ユーザー接続口も登録されます。

7 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。

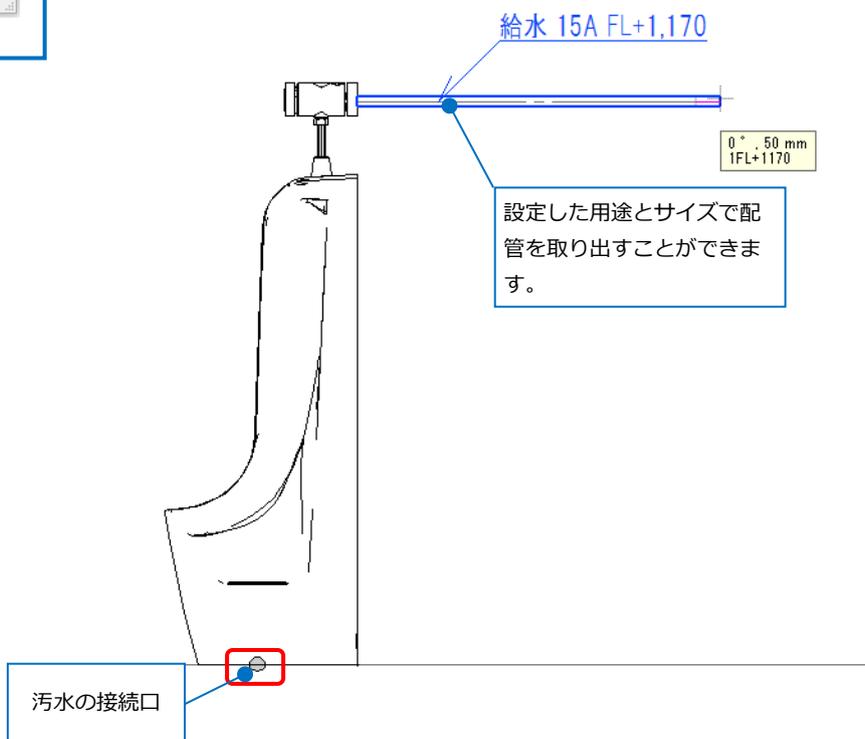


Memo

接続口のサイズは登録後に[ユーザー部材の配置]-[プロパティ]から変更できます。

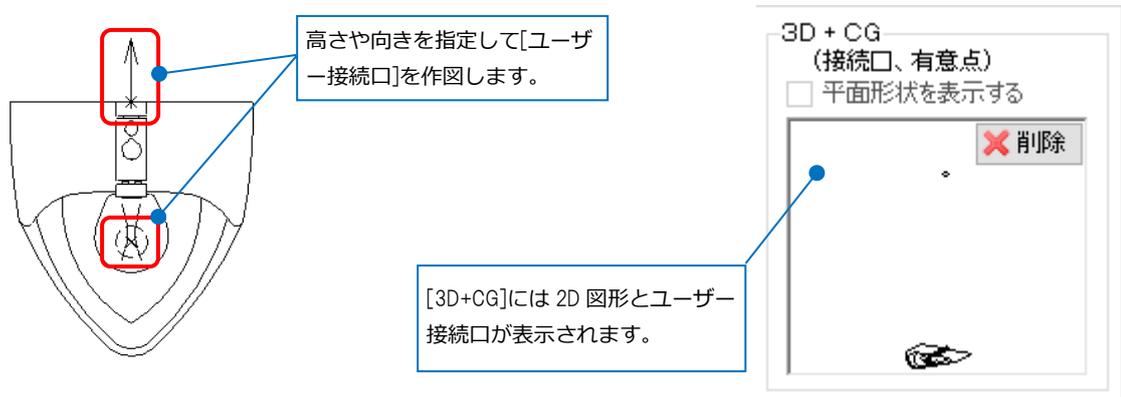


ユーザー接続口を登録すると接続口の番号が表示されます。



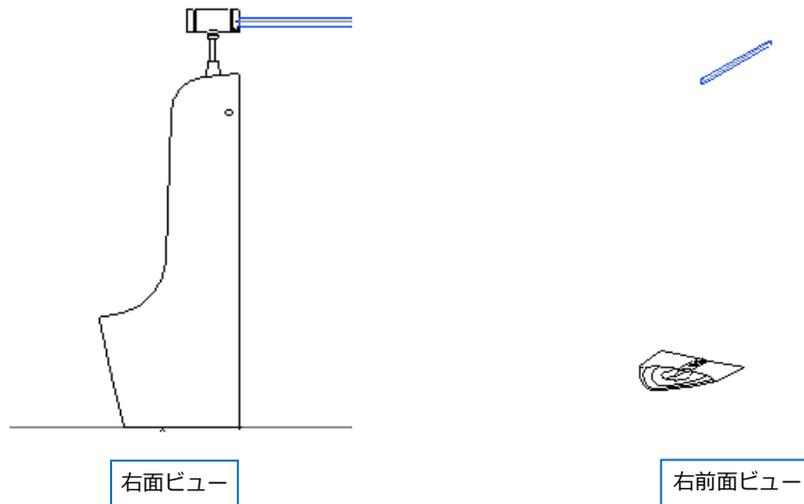
● 補足説明

2D データのみの部材に接続口を登録する場合も、[3D+CG]から登録します。



登録した位置や高さで配管が取り出せます。

斜め方向や CG で表示すると、2D 図形と取り出したルートが表示されます。



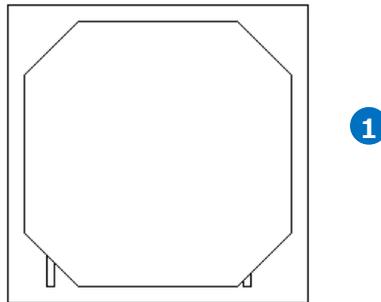
## 6.ユーザー有意点

### ユーザー有意点の作成

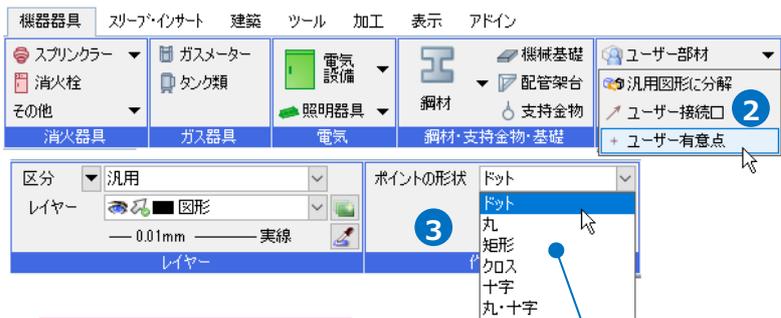
ユーザー有意点を含めてユーザー部材登録すると、部材の有意点として座標指定をすることができます。

例) パッケージエアコンの吊りボルトの位置に有意点を作成します。

- 1 有意点を設定する部材データを配置します。



- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材] 横の[▼]から[ユーザー有意点]をクリックします。

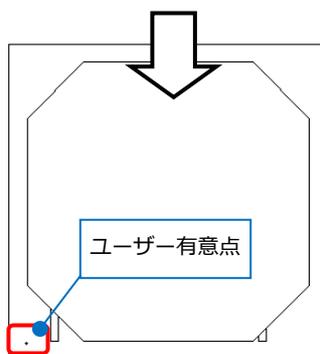


- 3 ポイントの形状をリストから選択します。「ドット」を指定します。

- 4 有意点を作成する位置を指定します。  
ここではメジャーで距離を入力して配置します。



- 5 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

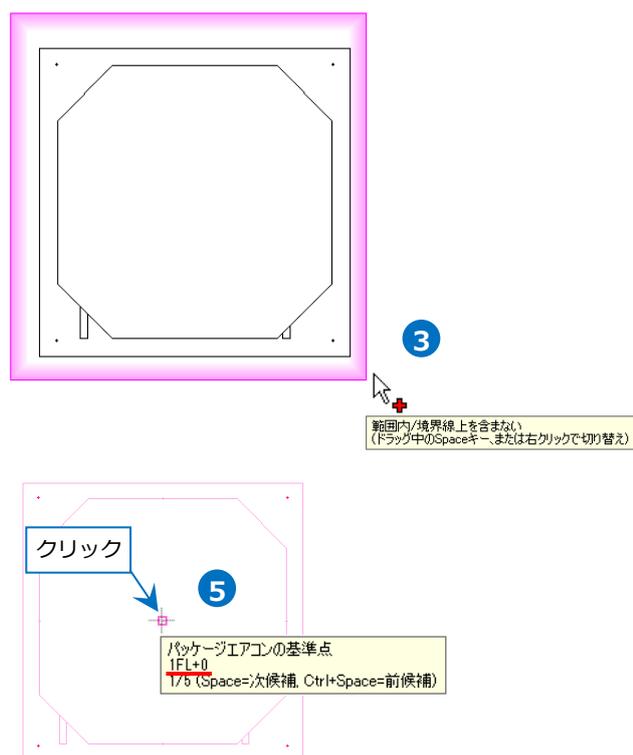


## ユーザー有意点の登録

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。
- 2 ユーザー有意点は[3D+CG]から登録します。[3D+CG]の[登録]をクリックします。
- 3 ユーザー有意点と部材データをまとめて選択します。
- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

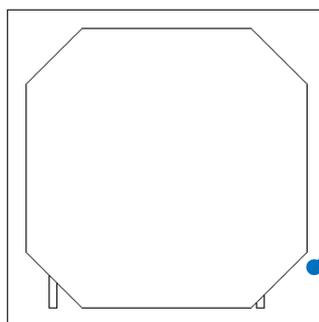
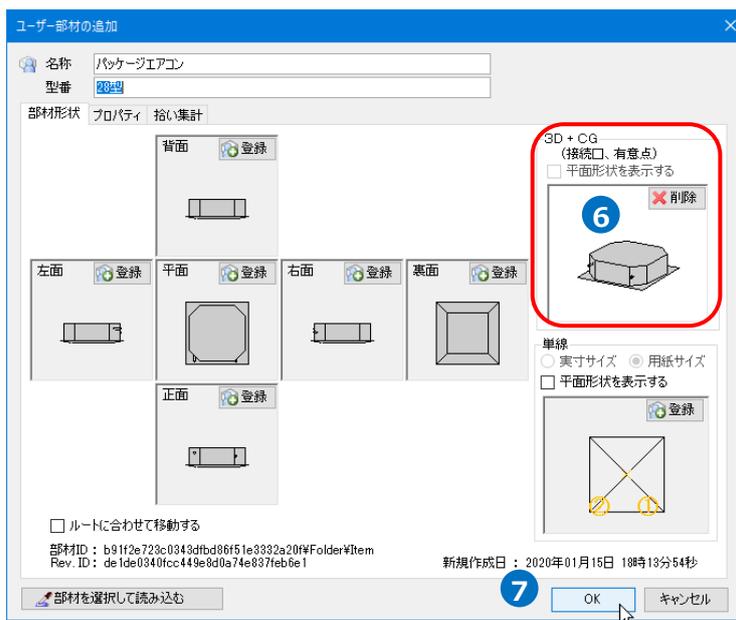


- 5 基準位置にカーソルを合わせ、Space キーで指定する高さを切り替えます。  
クリックをして基準位置を指定します。



6 [3D+CG]に登録されます。ユーザー  
有意点も登録されます。

7 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。



ユーザー有意点は登録すると非表示になります。  
作図コマンドを起動すると座標指定できます。

● 補足説明

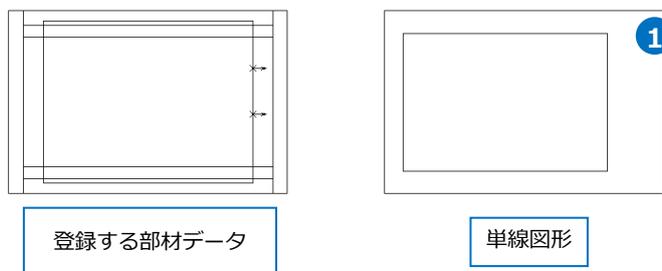
2D データのみの部材に有意点を登録する場合も、[3D+CG]から登録します。  
登録した位置や高さで座標が指定できます。



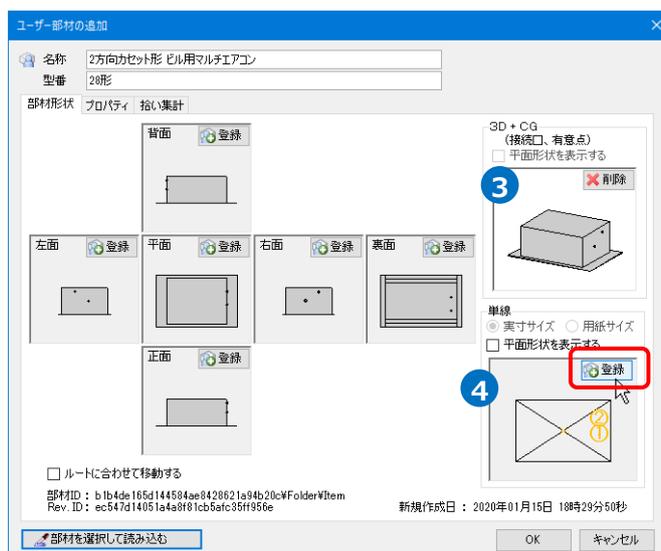
## 7. 単線の登録

単線に切り替えた時の記号を登録します。

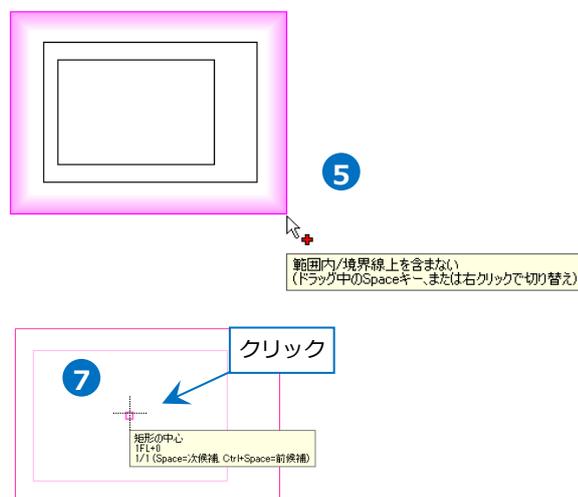
- 1 登録する部材データと単線図形を配置します。
- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。
- 3 部材データを登録します。



- 4 [単線]に単線図形を登録します。  
[単線]の[登録]をクリックします。



- 5 単線図形を選択します。
- 6 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
- 7 部材の基準位置を指定します。

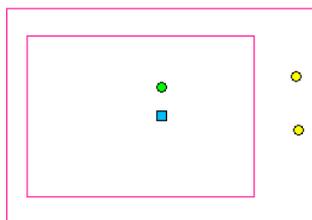
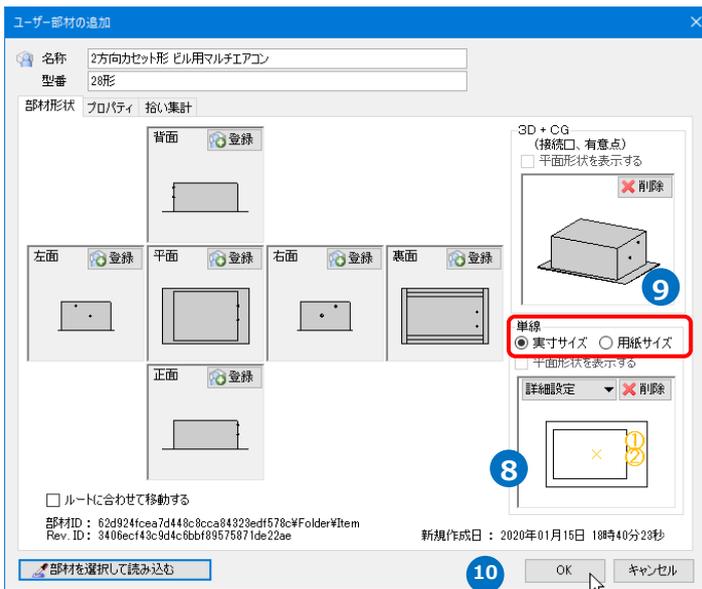


8 [単線]に登録されます。

9 単線図形の登録する基準縮尺に「実寸サイズ」を指定します。

Memo  
「実寸サイズ」を指定すると、縮尺に合わせて単線図形の大きさが変わります。  
「用紙サイズ」を指定すると、印刷した時の用紙上のサイズで作図します。

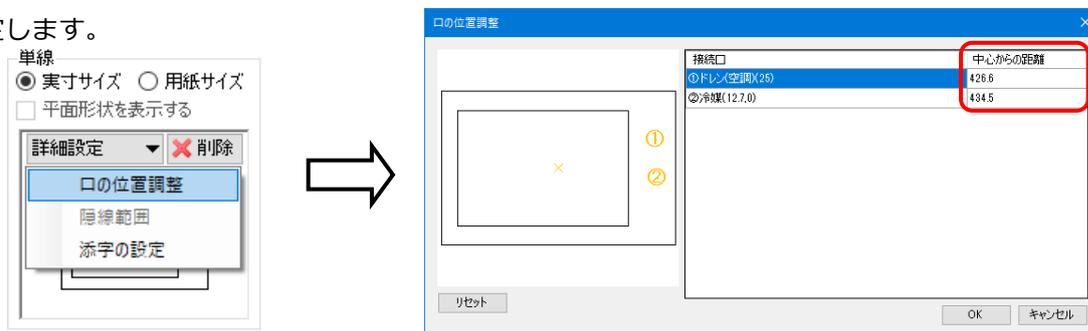
10 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。



● 補足説明

ユーザー接続口を登録すると、単線に切り替えたときも接続口が表示されます。

接続口の位置が複線部材と異なる場合は、[詳細設定]-[口の位置調整]で単線図形の基準位置から接続口の距離を設定します。

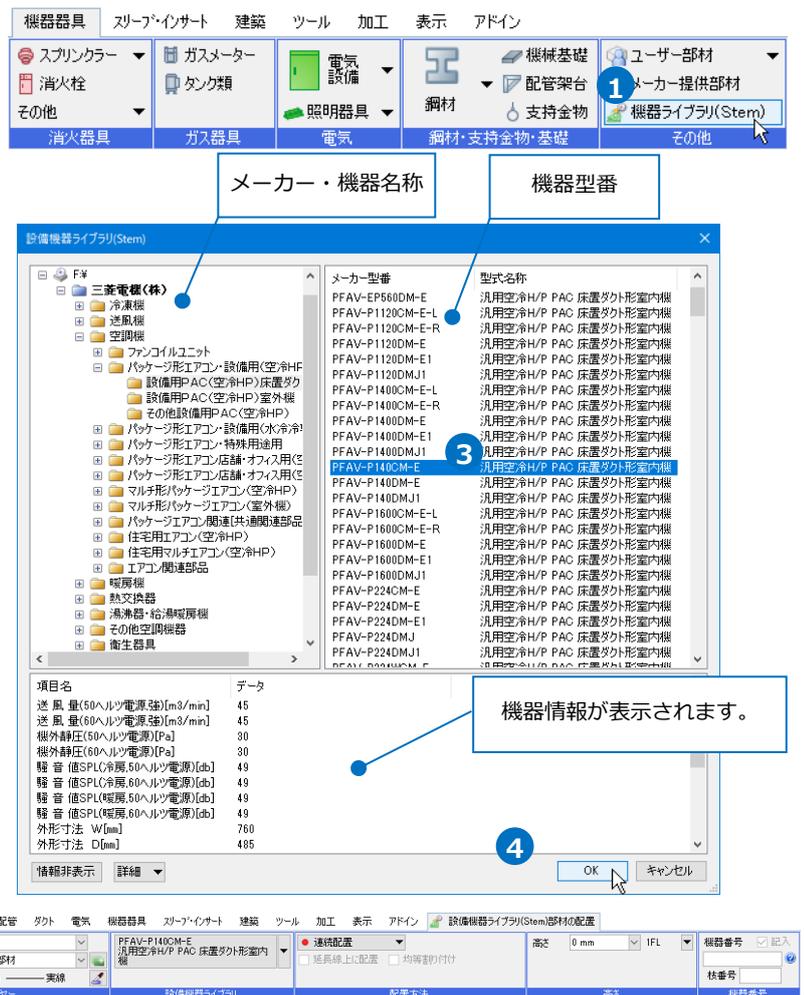


## 8.Stem の利用

設備機器ライブラリ(Stem)は各機器メーカーから提供された接続口と機器情報が登録されている部材です。  
Stem データと 3D データを組み合わせてユーザー部材を登録できます。  
Stem データはメーカーが提供する CD やメーカーのホームページから入手できます。

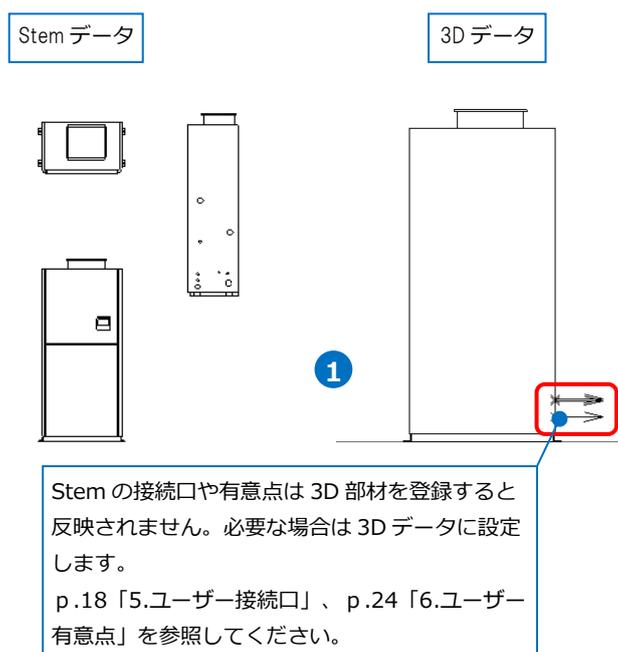
### Stem の読み込み

- 1 [機器器具]タブ-[機器ライブラリ (Stem)]をクリックします。
- 2 Stem データの保存先を選択します。  
→Stem データが表示されます。
- 3 読み込む部材を選択します。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 配置方法や高さを入力し図面上でクリックして配置します。



## 3D データと組み合わせる

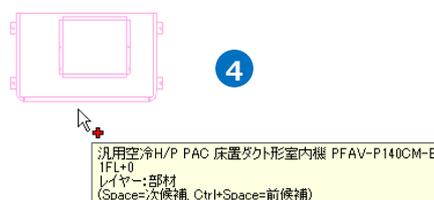
- 1 Stem データと 3D データを配置します。
- 2 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。



- 3 [部材を選択して読み込む]をクリックします。



- 4 配置した Stem データをクリックします。  
→部材形状や情報を取得します。



5 [部材の読み込み]ダイアログで部材の形状とプロパティ情報の読み込みの指定をします。

3Dデータを登録するため[3D+CG]のチェックを外します。

6 [OK]をクリックします。

→部材の形状とプロパティ情報が取り込まれます。

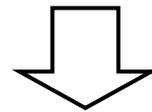
[名称]と[型番]は②で入力したため、チェックを外します。  
チェックを入れると、Stemに登録された情報を取り込みます。

5  3D+CG (接続口、有意点)

[3D+CG]にチェックを入れると、Stemに登録されている接続口と有意点の情報を取り込まず。

6 OK

項目	値
メーカーコード	108420
メーカー名	三菱電機(株)
細分類	設備用PAC(空冷HP)床置ダクト
メーカー型番	PFAV-P140CM-E
型式名称	汎用空冷H/P PAC 床置ダクト形
製品リリース年月日	2009/03/02



3D+CG (接続口、有意点)  平面形状を表示する

6 OK

6

項目	値	Stem 仕様属性項目
メーカーコード	108420	メーカーコード
メーカー名	三菱電機(株)	
細分類	設備用PAC(空冷HP)床置ダクト	
メーカー型番	PFAV-P140CM-E	メーカー型番
型式名称	汎用空冷H/P PAC 床置ダクト形	型式名称
製品リリース年月日	2009/03/02	製品リリース年月日

7 3Dデータを登録します。[3D+CG]の[登録]をクリックします。

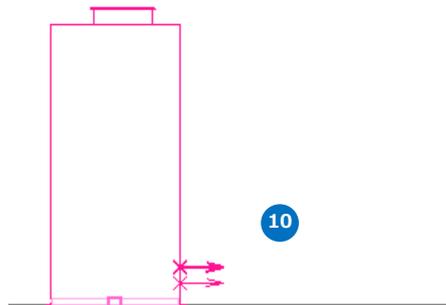
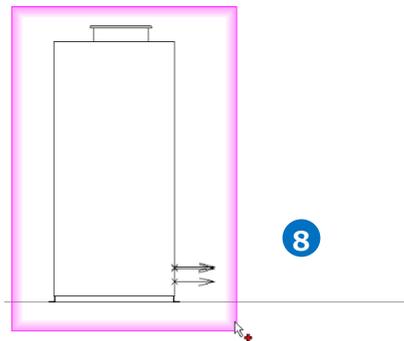
8 3Dデータを選択します。

9 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

10 部材の基準位置を指定します。

11 [3D+CG]に登録されます。ユーザー接続口とユーザー有意点も登録されます。

12 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。



クリック

直方体の中点  
1FL+0  
1/5 (Space=次候補, Ctrl+Space=前候補)



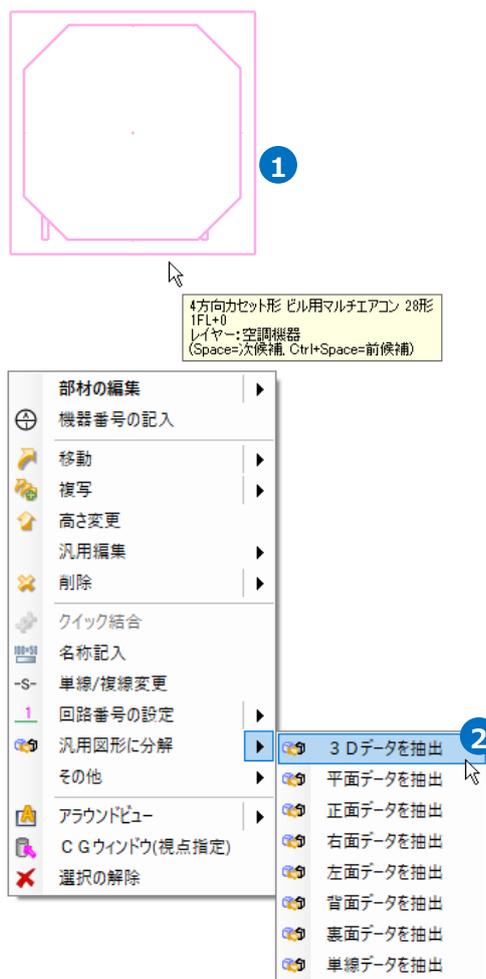
## 9. システム部材の編集

システム部材(レブロに標準登録されている部材)の部材形状を編集して、新しい部材を作成します。

ここでは、[機器器具]タブ-[パッケージ]の部材の3D形状と接続口の情報を変更して新たにユーザー部材登録します。

### システム部材を分解する

- 1 編集するシステム部材を配置し、選択します。
- 2 コンテキストメニューより[汎用図形に分解-3Dデータを抽出]をクリックします。



Memo

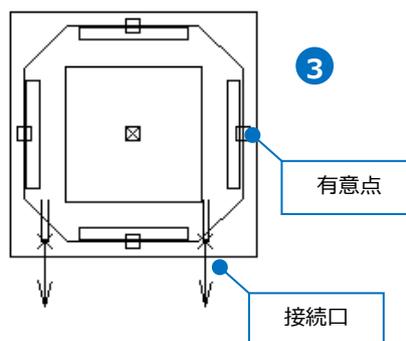
[汎用図形に分解]  
ビューの表示方向に合わせてビュー専用の汎用図形を抽出します。

[3Dデータを抽出]  
[3D+CG]に登録されている図形をビュー共通として抽出します。有意点や接続口も抽出されます。

[平面～裏面データを抽出]  
指定した方向に合わせたビュー専用の汎用図形を抽出します。

[単線データを抽出]  
単線で登録されている図形をビュー専用で抽出します。

- 3 3D図形と有意点、接続口が表示されます。

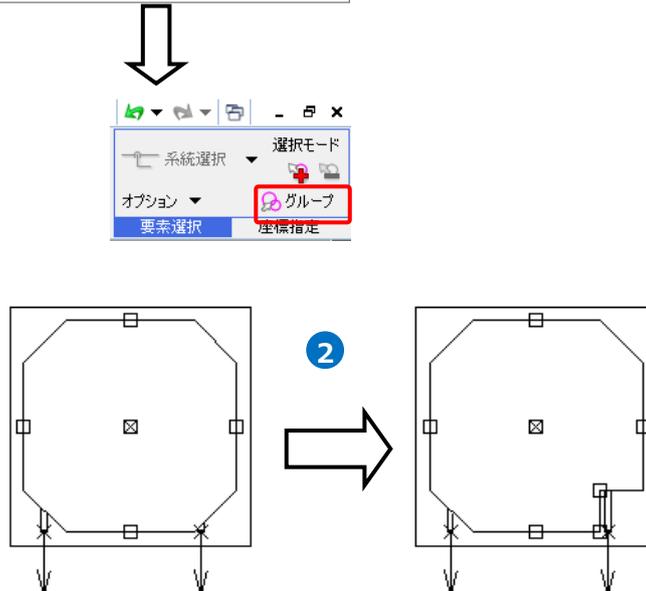


## システム部材を編集する

- 1 分解した部材はグループ化されています。部材を編集するには[グループ]のアイコンをオフにします。

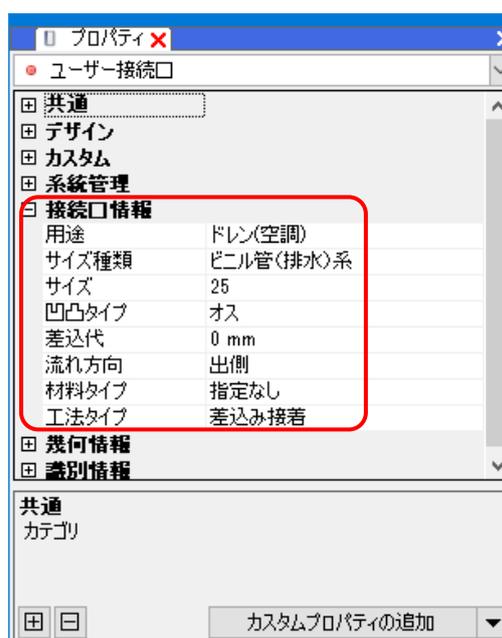


- 2 部材の形状を編集します。



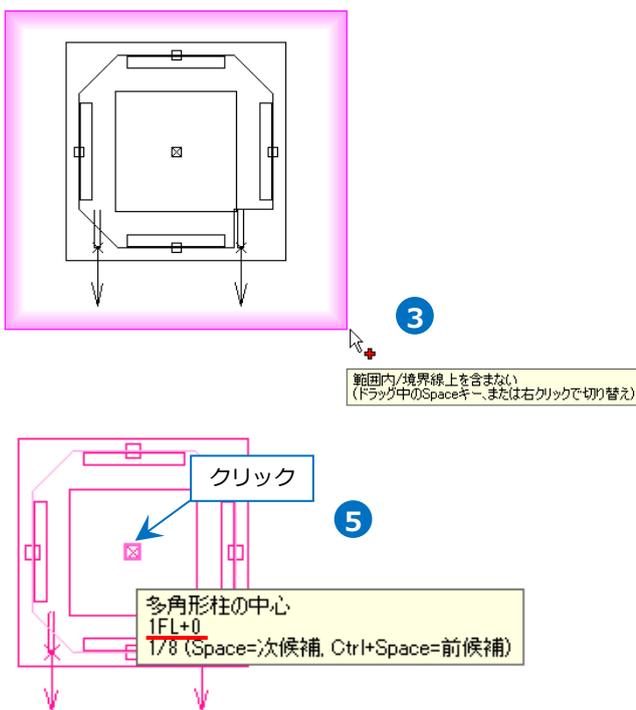
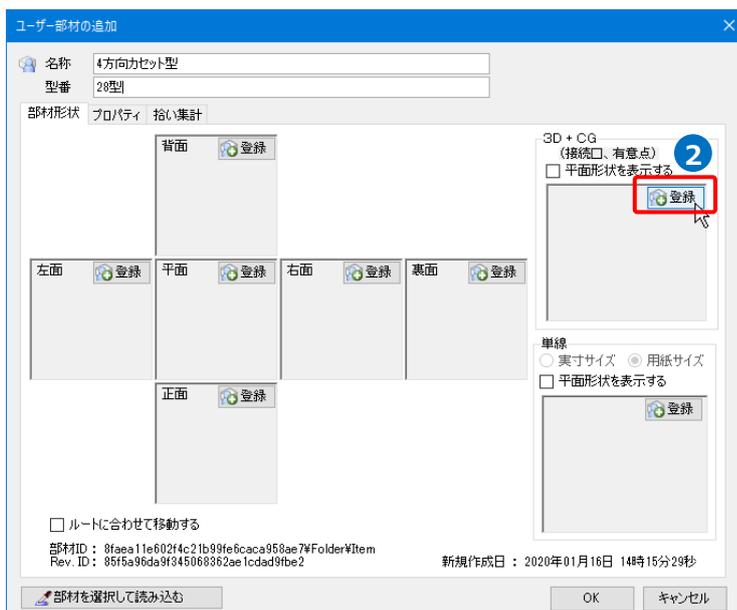
### ● 補足説明

接続口の内容はユーザー接続口要素のプロパティで変更できます。



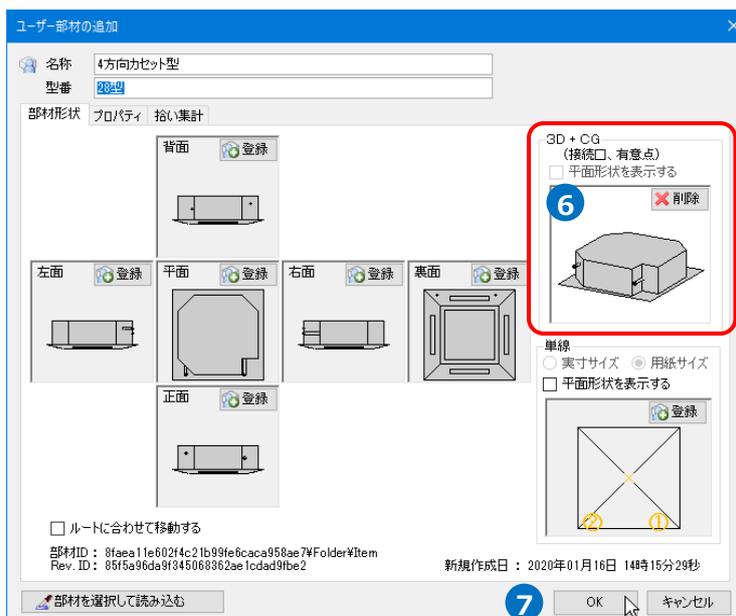
## 編集したシステム部材を登録する

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]の[ユーザー部材の追加]をクリックし、名称と型番を入力します。
- 2 ユーザー接続口は[3D+CG]から登録します。  
[3D+CG]の[登録]をクリックします。
- 3 3Dデータと接続口、有意点を選択します。
- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
- 5 基準位置にカーソルを合わせ、Spaceキーで指定する高さを切り替えます。  
クリックをして基準位置を指定します。



6 [3D+CG]に登録されます。接続口と有意点も登録されます。

7 [OK]をクリックします。  
→部材が登録されます。

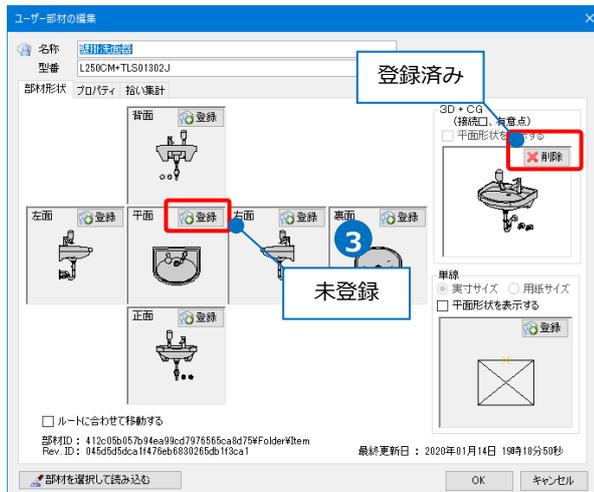
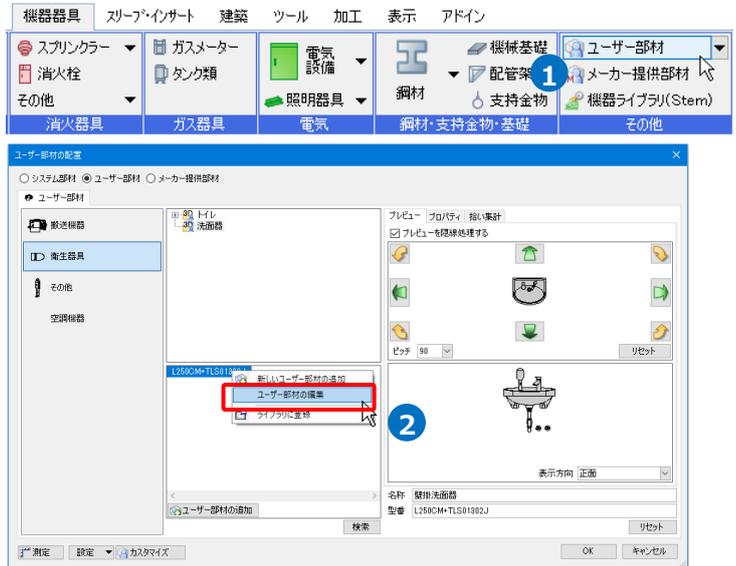


# 10.登録内容の編集

登録したユーザー部材の部材形状やプロパティ情報を追加・変更します。

例)3D 部材に 2D 図形を追加します。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 編集する部材を選択し、コンテキストメニューから[ユーザー部材の編集]をクリックします。
- 3 [ユーザー部材の編集]ダイアログが表示されます。  
部材形状が登録されている時は[削除]アイコン、未登録の時は[登録]アイコンが表示されます。



## 部材形状を追加登録する

- 1 登録する方向の[登録]をクリックします。



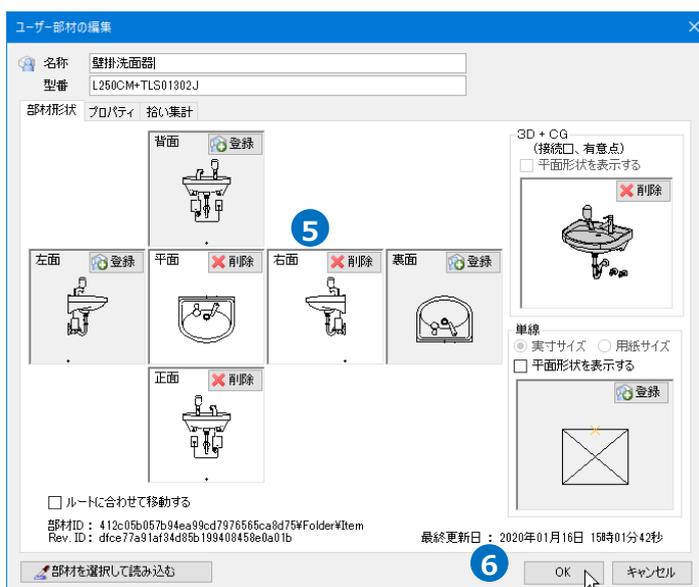
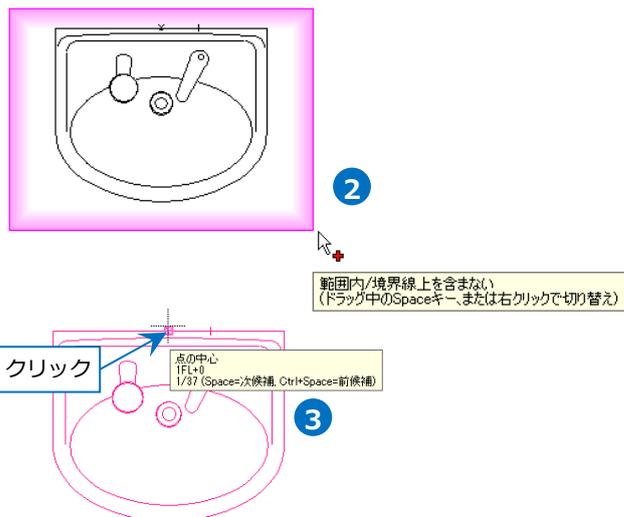
2 登録する 2D 図形を選択し、コンテキストメニューから[確定]をクリックします。

3 部材の基準位置を指定します。

4 指定方向の部材形状が登録されます。

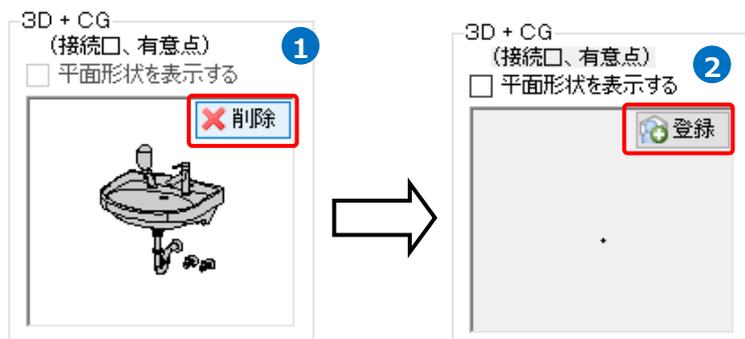
5 同様に他の方向も登録します。

6 [OK]をクリックします。  
→登録したユーザー部材が更新されます。



## 登録済みの部材形状を変更する

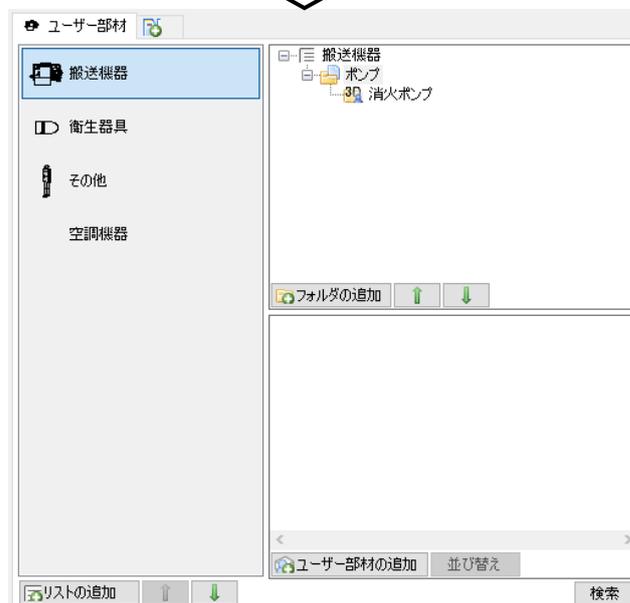
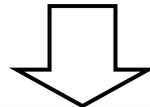
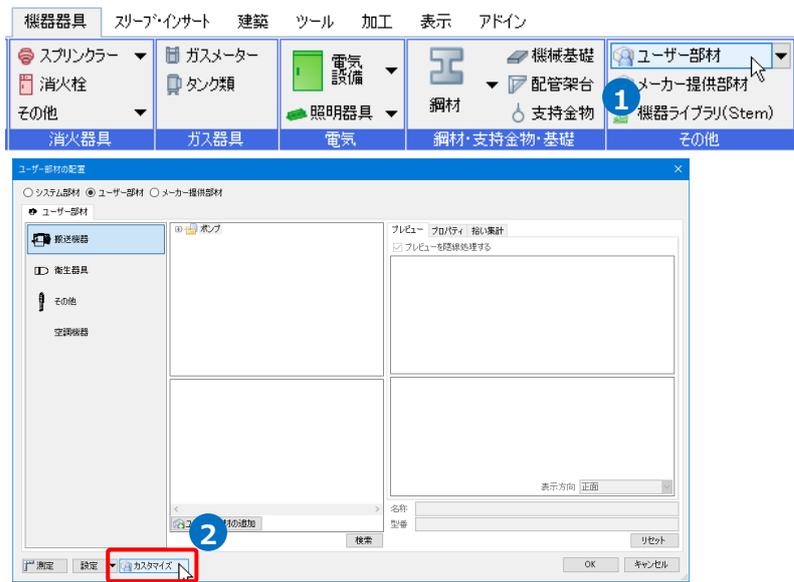
- 1 登録された部材形状を変更するには  
[削除]をクリックします。  
→登録された形状が削除され、[登録]アイコンに切り替わります。
- 2 [登録]をクリックして、新しい部材形状を登録します。



# 11.カスタマイズ

ユーザー部材の削除や移動、ダイアログのタブ、リスト、フォルダを編集します。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [カスタマイズ]をクリックします。  
→[ユーザー部材の配置]ダイアログが編集モードになります。

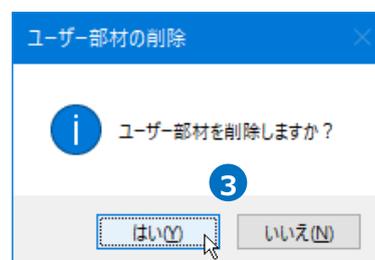


## ユーザー部材の削除

登録したユーザー部材を削除します。

- 1 削除するユーザー部材を選択します。
- 2 コンテキストメニューより[ユーザー部材の削除]を選択します。
- 3 [ユーザー部材の削除]ダイアログで[はい]をクリックします。  
→部材が削除されます。

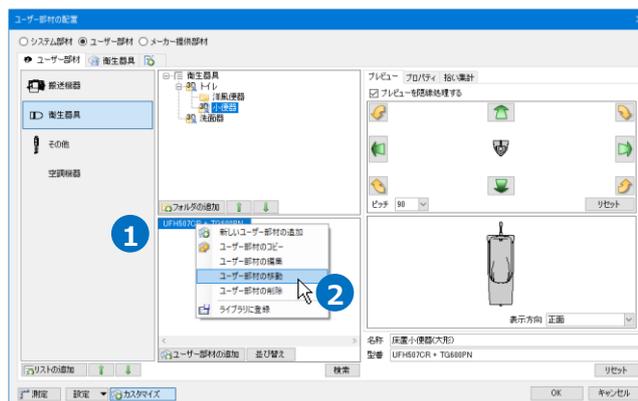
※[ユーザー部材の削除]を行うと復元できません。



## ユーザー部材の移動

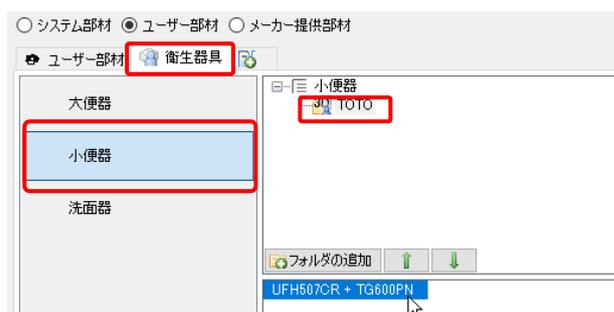
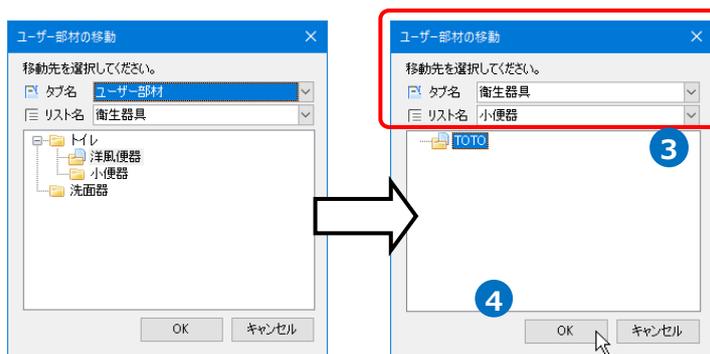
ユーザー部材の登録位置を変更します。

- 1 移動するユーザー部材を選択します。
- 2 コンテキストメニューより[ユーザー部材の移動]をクリックします。



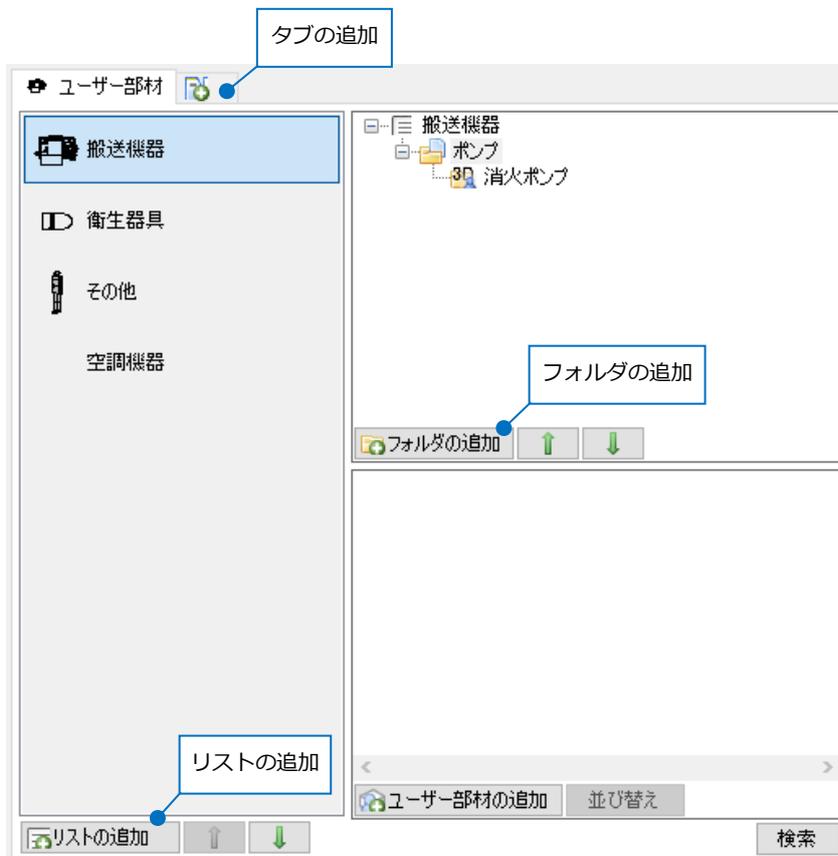
3 [ユーザー部材の移動]ダイアログで、変更先のタブ、リスト、フォルダを指定します。

4 [OK]をクリックします。  
→部材の登録位置が変更されます。



## タブ、リスト、フォルダの追加

[タブの追加]、[リストの追加]、[フォルダの追加]、またはコンテキストメニューから追加することができます。指定したリストとフォルダの下層に追加されます。



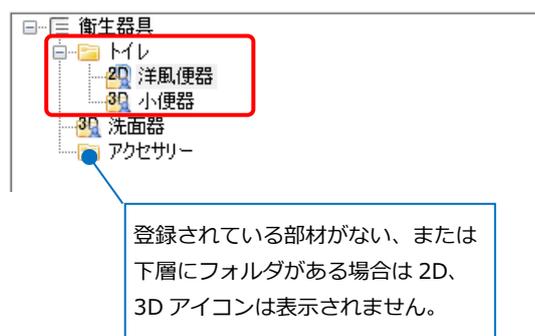
Memo  
タブ、リスト、フォルダは左ドラックまたは[↑↓]で並び順を変更できます。

### ● 補足説明

フォルダの 2D、3D のアイコンはフォルダ内に登録されている部材によって替わります。

2D アイコン…2D 部材のみ登録されている時。

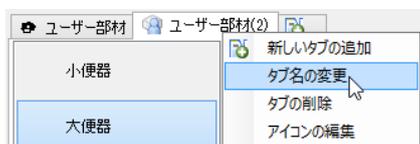
3D アイコン…3D 部材が登録されている時や 2D 部材と 3D 部材が混在している時。



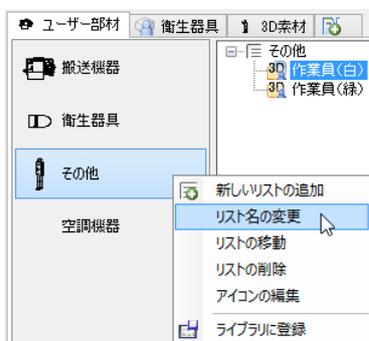
## タブ、リスト、フォルダの名称変更

コンテキストメニューから[タブ名の変更]、[リスト名の変更]、[フォルダ名の変更]で名称変更ができます。

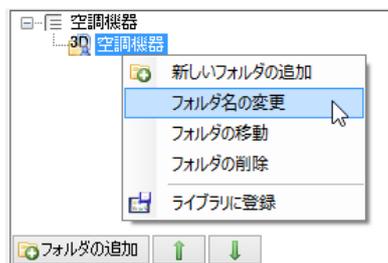
### タブ名の変更



### リスト名の変更



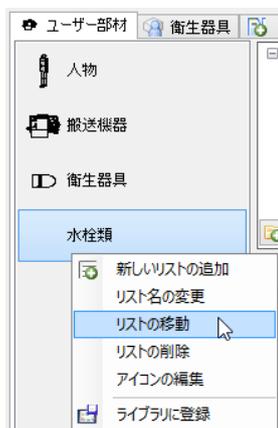
### フォルダ名の変更



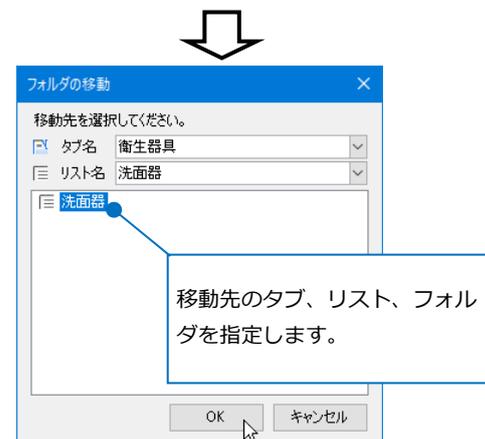
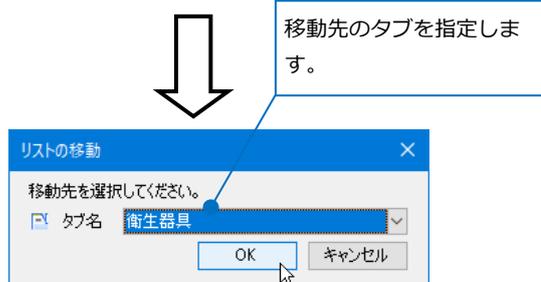
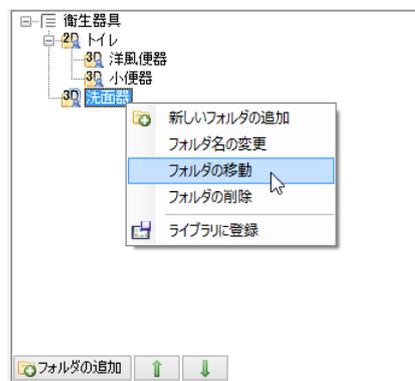
## リスト、フォルダの移動

コンテキストメニューから[リストの移動]、[フォルダの移動]で表示位置を変更できます。

### リストの移動



### フォルダの移動

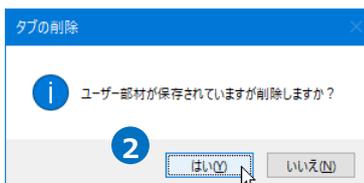
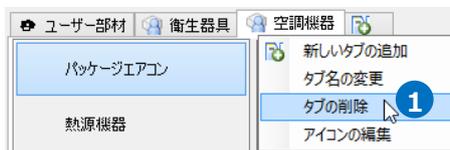


## タブ、リスト、フォルダの削除

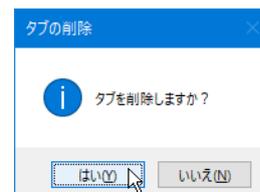
※これらの削除を行うと復元できません。

### タブの削除

- 1 削除するタブを右クリックし、[タブの削除]をクリックします。
- 2 [タブの削除]ダイアログで[はい]をクリックします。  
→タブが削除されます。タブ内のリスト、フォルダ、登録部材も削除されます。



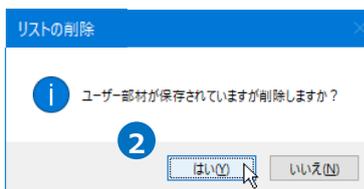
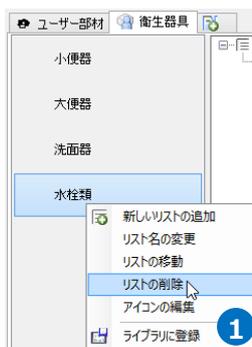
部材が保存されている場合



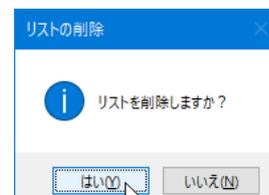
部材が保存されていない場合

### リストの削除

- 1 削除するリストを右クリックし、[リストの削除]をクリックします。
- 2 [リストの削除]ダイアログで[はい]をクリックします。  
→リストが削除されます。リスト内のフォルダ、登録部材も削除されます。



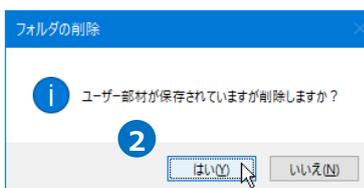
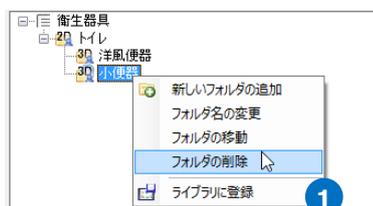
部材が保存されている場合



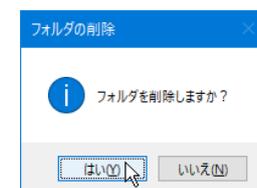
部材が保存されていない場合

### フォルダの削除

- 1 削除するフォルダを右クリックし、[フォルダの削除]をクリックします。
- 2 [フォルダの削除]ダイアログで[はい]をクリックします。  
→フォルダが削除されます。フォルダ内の登録部材も削除されます。



部材が保存されている場合

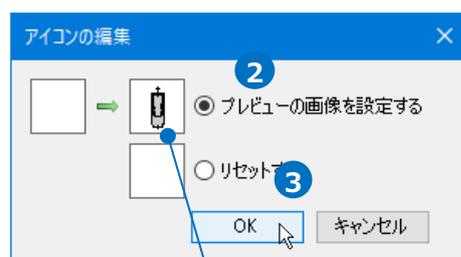
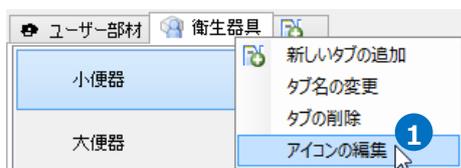


部材が保存されていない場合

## タブ、リストのアイコン編集

### タブのアイコン編集

- 1 アイコンを編集するタブを右クリックし、[アイコンの編集]をクリックします。
- 2 [アイコンの編集]ダイアログの「プレビューの画像を設定する」にチェックを入れます。
- 3 [OK]をクリックします。  
→アイコンが設定できます。

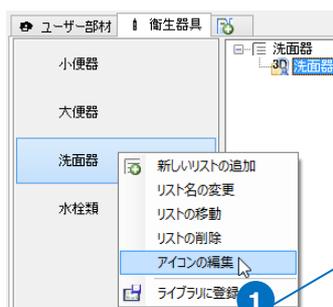


[ユーザー部材の配置]-[プレビュー]の画像が表示されます。

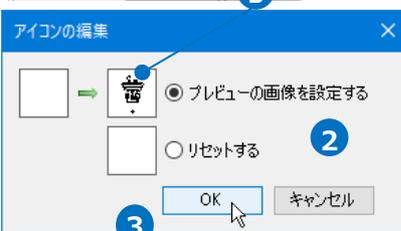


### リストのアイコン編集

- 1 アイコンを編集するリストを右クリックし、[アイコンの編集]をクリックします。
- 2 [アイコンの編集]ダイアログの「プレビューの画像を設定する」にチェックを入れます。
- 3 [OK]をクリックします。  
→アイコンが設定できます。



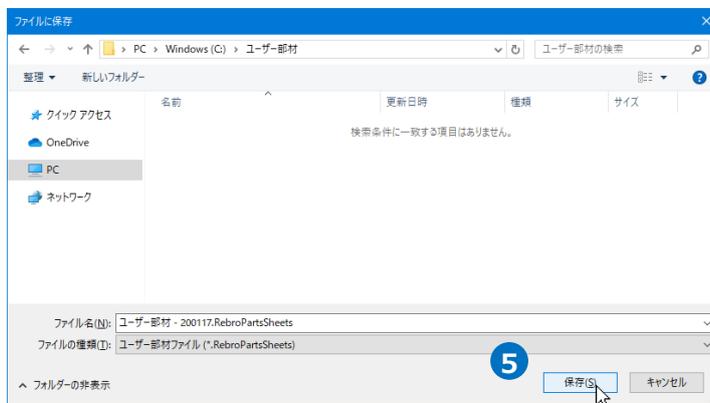
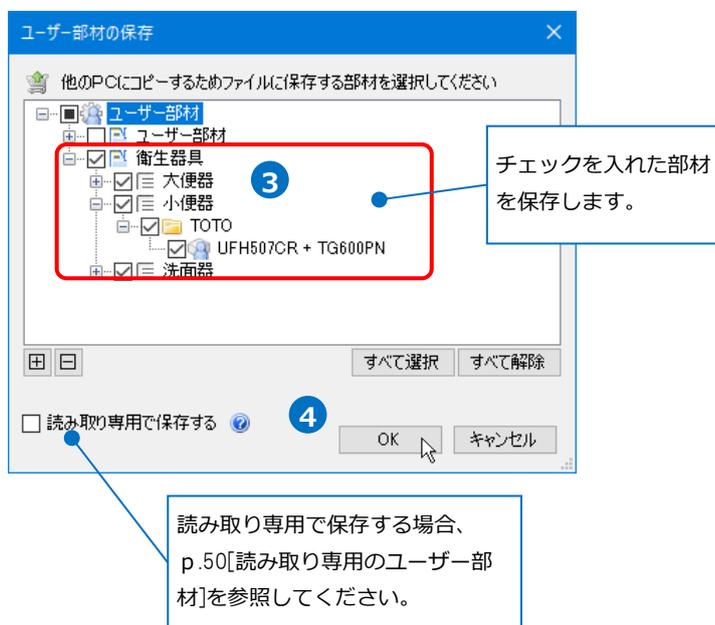
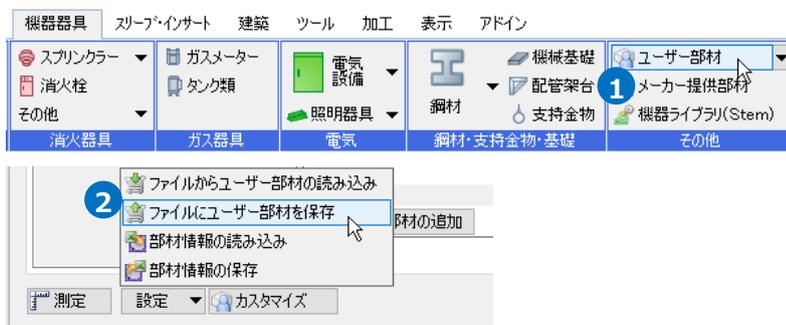
[ユーザー部材の配置]-[プレビュー]の画像が表示されます。



## 12.ユーザー部材の保存

登録したユーザー部材をファイルに保存し、受け渡しすることができます。

- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]をクリックします。
- 3 [ユーザー部材の保存]ダイアログで保存するユーザー部材にチェックを入れます。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 [ファイルに保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。  
→ユーザー部材ファイル (\*.RebroPartsSheets)が作成されます。



# 13.ユーザー部材の読み込み

ユーザー部材ファイルを読み込みます。

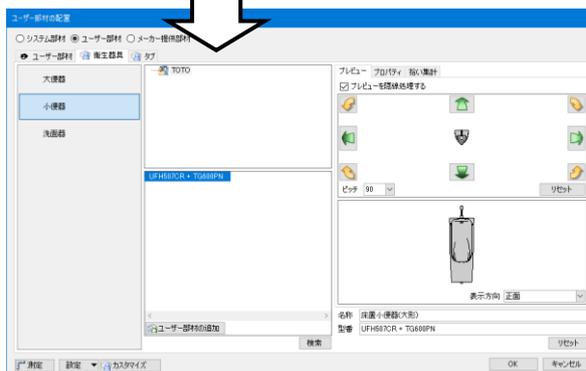
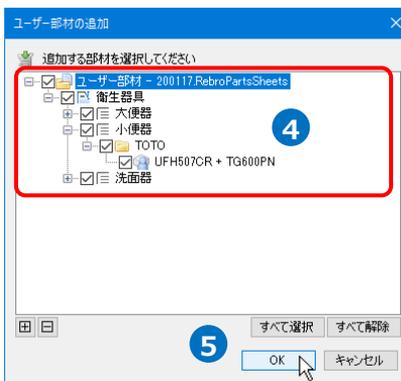
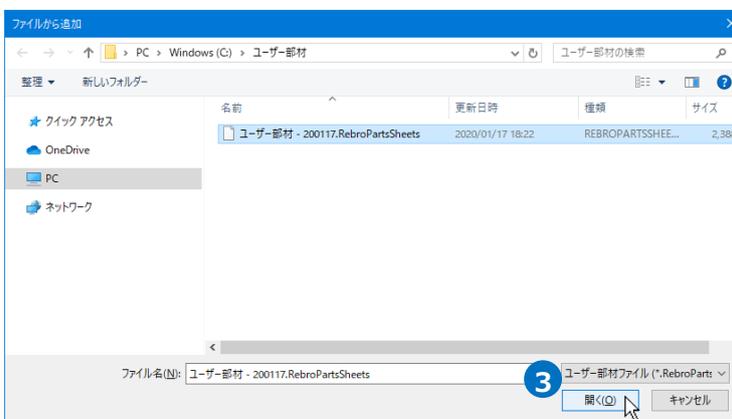
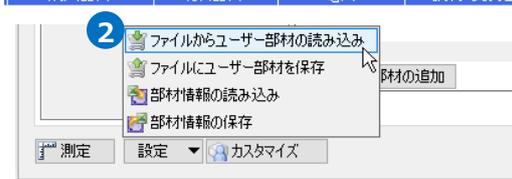
1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。

2 [設定]-[ファイルからユーザー部材の読み込み]をクリックします。

3 [ファイルから追加]ダイアログから読み込むユーザー部材ファイル (\*.RebroPartsSheets)を選択し、[開く]をクリックします。

4 [ユーザー部材の追加]ダイアログで追加する部材にチェックを入れます。

5 [OK]をクリックします。  
→ユーザー部材が追加されます。



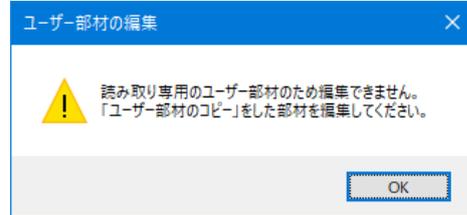
- 補足説明

ユーザー部材には ID が設定されています。同じ ID の部材を読み込む場合、上書きするか別の部材として追加するか、また追加しないかの選択ができます。



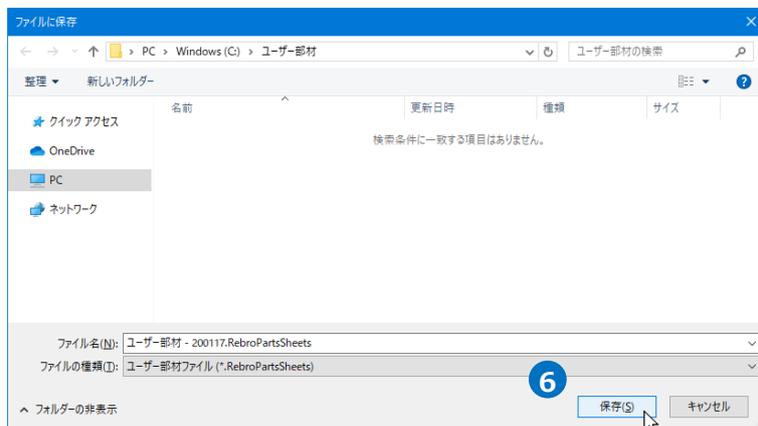
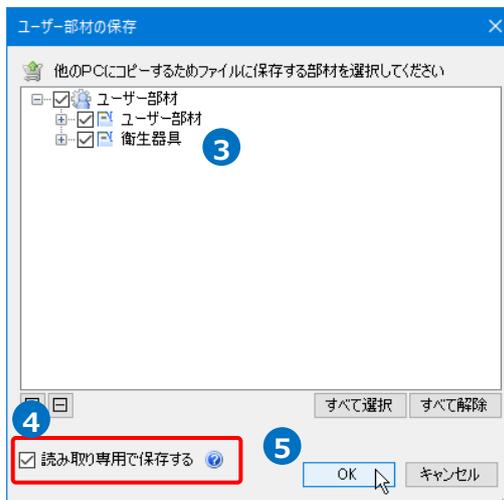
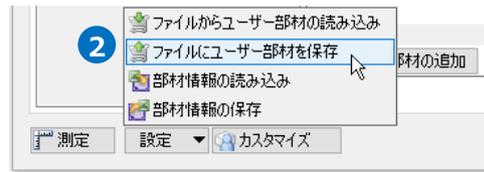
## 14.読み取り専用のユーザー部材

部材をファイルに保存する時、[読み取り専用]を設定すると、部材を読み込んだ PC でユーザー部材の編集を禁止することができます。読み込んだ PC で部材を編集しようとする時メッセージが表示されます。



### 読み取り専用として保存する

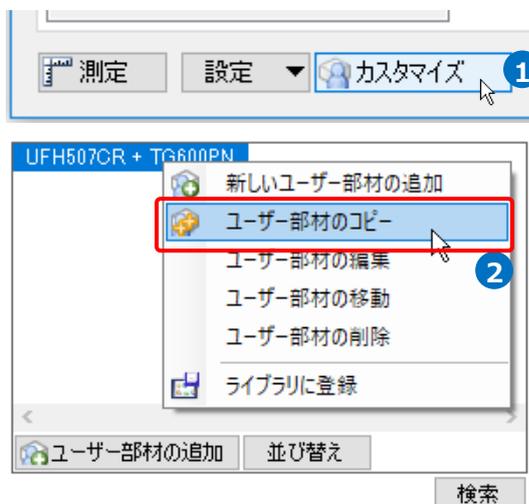
- 1 [機器器具]タブ-[ユーザー部材]をクリックします。
- 2 [設定]-[ファイルにユーザー部材を保存]をクリックします。
- 3 [ユーザー部材の保存]ダイアログで保存するユーザー部材にチェックを入れます。
- 4 [読み取り専用で保存する]にチェックを入れます。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 [ファイルに保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。  
→読み取り専用の部材として保存されます。



## 読み取り専用を編集する

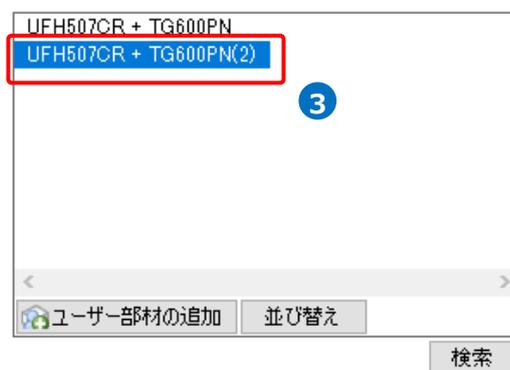
読み取り専用の部材をコピーし、別部材として編集します。

- 1 [カスタマイズ]をクリックします。



- 2 編集する部材を選択し、コンテキストメニューから[ユーザー部材のコピー]をクリックします。

- 3 コピーされた部材を編集します。



# 15.メーカー提供部材の読み込み

当社ホームページ(<https://www.nyk-systems.co.jp/download/downloadparts>)からダウンロードしたメーカー提供部材ファイル(\*.RebroPartsSheets)をユーザー部材に読み込みます。

## メーカー提供部材を読み込む

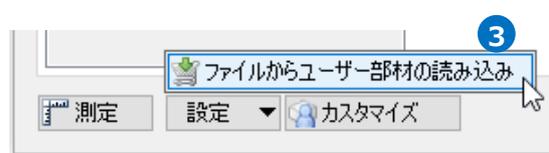
- 1 [メーカー提供部材の配置]ダイアログの[ダウンロード]タブをクリックすると、URLが表示されます。  
クリックするとブラウザが開き、当社HPの[部材ダウンロード]ページが表示されます。  
使用したい部材のメーカー様を選択し、圧縮されたメーカー提供部材ファイル(\*.zip)をダウンロードし、解凍します。



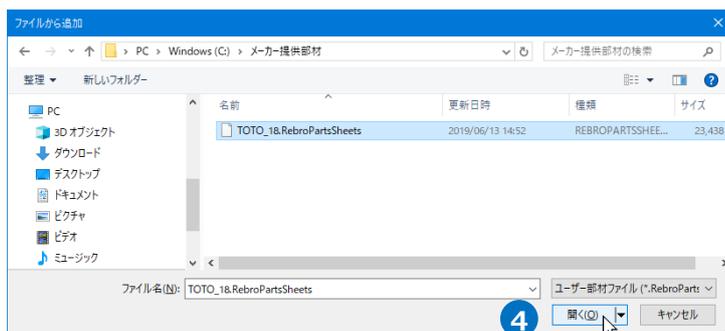
- 2 [機器器具]タブ-[メーカー提供部材]をクリックします。



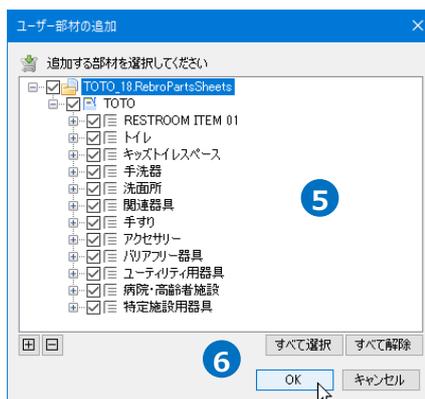
- 3 [設定]-[ファイルからユーザー部材の読み込み]をクリックします。



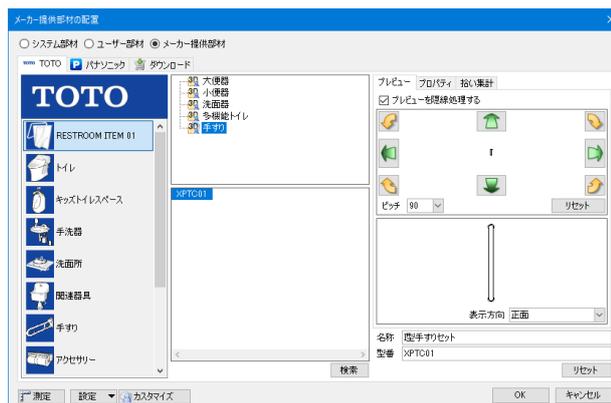
- 4 [ファイルから追加]ダイアログから読み込むユーザー部材ファイル (\*.RebroPartsSheets)を選択し、[開く]をクリックします。



- 5 [ユーザー部材の追加]ダイアログで追加する部材にチェックを入れます。

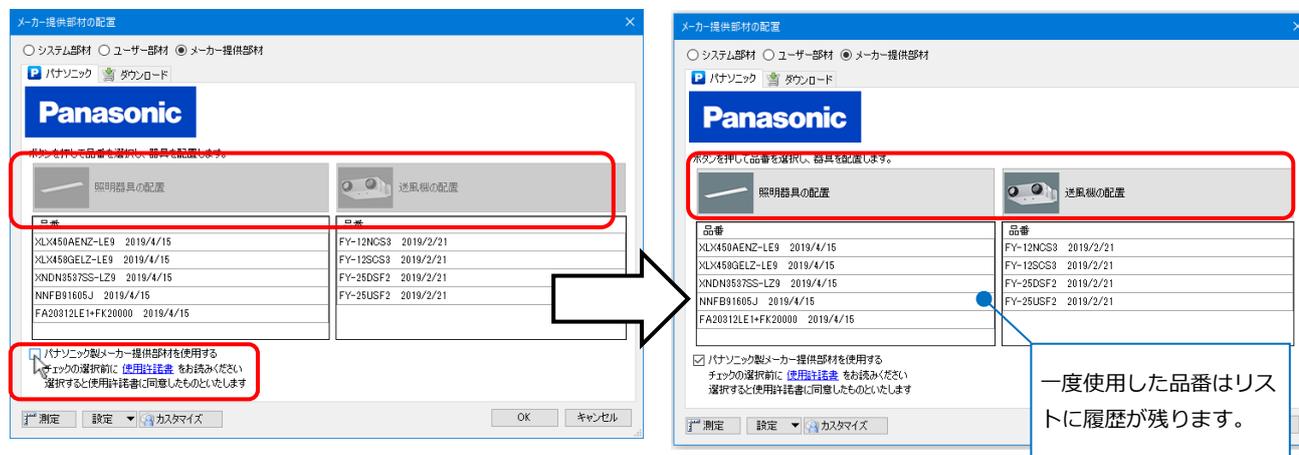


- 6 [OK]をクリックします。  
→メーカー提供部材が追加されます。



- 補足説明

パナソニック製メーカー提供部材を使用する場合は、[パナソニック]タブの[使用許諾書]をクリックし、内容をご確認の上、[パナソニック製メーカー提供部材を使用する]にチェックを入れると使用できるようになります。



[照明器具の配置]/[送風機の配置]ボタンをクリックし、品番から機器を検索できます。